

平成 28 年度 行政評価報告書

平成 29 年 2 月 前橋市役所政策部政策推進課

目 次

1 総論

- | | |
|------------|----|
| （１）趣旨・目的 | P1 |
| （２）行政評価の概要 | P1 |
| （３）対象事業一覧 | P3 |

2 行政評価

- | | |
|---------------------|----|
| 後期実施計画（主要事業）の進捗状況一覧 | P7 |
|---------------------|----|

1 総論

(1) 趣旨・目的

超高齢社会と人口減少社会が現実のものとなり、多様化・高度化する行政課題への的確な対応が迫られています。国が、2060年に1億人程度の人口を確保するという目標を掲げ、国を挙げて地方創生の取り組みを進めている中、本市としても平成27年度に策定した前橋版人口ビジョン及び前橋版総合戦略に基づき、これまでにない危機感と当事者意識を持って、地方創生に取り組んでいます。

本市では、平成25年度を初年度とし平成29年度を目標年度とする「第六次前橋市総合計画改訂版」を策定し、目指すべき将来都市像「生命都市いきいき前橋」の実現に向け、市民とともに様々な取り組みを進めてきました。

行政評価とは、行政活動を一定の目的・基準・視点によって評価し、その結果を改善に結びつける手法です。

今後も、限りある財源を有効に活用しながら、行政サービスの質を向上させていくためには、「事業を計画(PLAN)」し、「その事業にどれだけ予算をつけ、どれだけ事業を実施したのか(DO)」に加え、「事業を振り返って評価(CHECK)」し、「その結果を次年度の予算編成や事業執行に反映する(ACTION)」という、いわゆるPDCAサイクルを確立することが不可欠であり、行政評価はその一翼を担います。

(2) 行政評価の概要

本市では、第六次前橋市総合計画改訂版の進行管理を目的として、行政評価を実施しています。後期実施計画に位置づけられた各事業の課題や問題点を把握しつつ、解決や改善を図るための取り組みです。

今年度は、より効率的かつ効果的な手法として、新年度予算の財務部課長審査及び市長査定において行政評価を実施し、各事業の目標達成に向けた進行管理及び取り組み状況に対する評価を行いました。

ア 評価方法

各評価段階における対象事業について、目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断し、今後の方向性を示します。

(ア) 一次評価

日 程：平成 28 年 11 月

評 価 者：政策推進課

対象事業：実施計画事業（199 事業）のうち主要事業（125 事業）

(イ) 二次評価

日 程：平成 28 年 11 月 10 日（木）～12 月 20 日（火）

（平成 29 年度当初予算 財務部課長審査において評価を実施）

評 価 者：財務部長、財政課長、政策部長、政策推進課長、両課職員

対象事業：実施計画事業のうち一次評価において B 評価のもの（22 事業）

実施計画、総合戦略、市長公約が重複している事業（30 事業）

(ウ) 三次評価

日 程：平成 29 年 1 月 18 日（水）～1 月 30 日（月）

（平成 29 年度当初予算 市長査定において評価を実施）

評 価 者：市長、副市長、教育長、公営企業管理者、

総務部長、秘書課長、財務部長、財政課長、

政策部長、政策推進課長

対象事業：実施計画事業のうち二次評価において B 評価のもの（14 事業）

市長公約のうち五段階評価で D 評価のもの（12 事業）

イ 協議結果の活用

次年度における市政運営の指針である「行政経営方針」の策定や、次期総合計画策定に向けた基礎資料として活用します。なお、策定した行政経営方針は、予算内示と合わせ、議会・HP 等で公表します。

(3) 対象事業一覧

No.	事務事業名	進 捗 状 況	担当部	主担当課
1	計画的な土地利用の推進	A	都市計画部	都市計画課
2	都心核の形成	A	都市計画部	市街地整備課
3	地域核・地域拠点の整備	A	都市計画部	市街地整備課
4	土地区画整理事業（市施行）の推進	B	都市計画部	区画整理課 市街地整備課
5	土地区画整理事業（組合施行）の支援・促進	A	都市計画部	区画整理課
6	市営住宅の維持管理と有効活用	A	建設部	建築住宅課
7	定住促進の強化	A	建設部	建築住宅課
8	景観の保全と創出	B	都市計画部	都市計画課
9	国・県等連携事業の促進	B	都市計画部	都市計画課
10	幹線道路等の整備	A	建設部	道路建設課
11	道路・橋りょうの維持補修	A	建設部	道路管理課
12	鉄道の活性化	A	政策部	交通政策課
13	バス交通網の維持活性化	A	政策部	交通政策課
14	水道施設の整備	A	水道局	水道整備課
15	公共下水道の整備	A	水道局	下水道整備課
16	水質浄化、処理施設の維持・更新	A	水道局	下水道施設課
17	自主防災の支援	B	総務部	危機管理室
18	災害対策の強化	A	総務部	危機管理室
19	防災体制の充実	A	総務部	危機管理室
20	自主防犯の支援	A	総務部	危機管理室
21	消防施設・設備の充実	A	消防局	総務課
22	救助・救急・消火体制の強化	A	消防局	警防課
23	交通安全対策の充実	A	政策部	交通政策課
24	公園・緑地の整備	A	建設部	公園緑地課
25	森林整備及び有害鳥獣対策の推進	A	農政部	農林課
26	環境学習の拠点施設整備・活用	A	環境部	環境政策課
27	事業者に対する環境配慮意識の啓発	A	環境部	環境政策課
28	ごみの発生抑制の促進	B	環境部	ごみ減量課
29	ごみの再利用・再生利用の促進	B	環境部	ごみ減量課
30	事業所ごみの減量	A	環境部	ごみ減量課
31	ごみ処理施設の整備・充実	A	環境部	清掃施設課
32	CO ₂ 削減の推進	B	環境部	環境政策課
33	エネルギーと資源の有効活用	A	環境部	清掃施設課
34	新エネルギーの導入促進	A	環境部	環境政策課

35	次世代技術の導入促進	A	環境部	環境政策課
36	健康づくりの推進	A	健康部	健康増進課
37	疾病予防の充実	A	健康部	健康増進課
38	地域医療環境の充実	A	健康部	保健総務課
39	救急医療体制の充実	A	健康部	保健総務課
40	国民健康保険制度の適正な運営	A	健康部	国民健康保険課
41	感染症対策の充実	A	健康部	保健予防課
42	親子の健康増進	A	福祉部	子育て支援課
43	地域における多様な子育て支援	A	福祉部	子育て施設課
44	保育サービスの充実	A	福祉部	子育て施設課
45	保育所（園）・幼稚園環境の整備	A	福祉部	子育て施設課
46	児童の健全育成	A	福祉部	子育て施設課
47	出会いの機会の応援	A	政策部	政策推進課
48	児童虐待防止対策の充実	A	福祉部	子育て支援課
49	社会参加の促進	A	福祉部	介護高齢課
50	介護予防事業の推進	A	福祉部	介護高齢課
51	包括的支援の充実	A	福祉部	介護高齢課
52	地域包括ケアシステムの構築	A	福祉部	介護高齢課
53	介護保険給付対象サービスの充実	A	福祉部	介護高齢課
54	自立支援給付サービスの充実	A	福祉部	障害福祉課
55	障害者の就労支援	A	福祉部	障害福祉課
56	生活支援サービスの充実	A	福祉部	障害福祉課
57	相談支援体制の充実	A	福祉部	障害福祉課
58	地域福祉活動の活性化	A	福祉部	社会福祉課
59	要保護世帯への支援	A	福祉部	社会福祉課
60	中小企業振興の基盤づくり	A	産業経済部	産業政策課
61	新製品・新技術の開発支援	A	産業経済部	産業政策課
62	産学官連携の推進	A	産業経済部	産業政策課
63	企業誘致の促進	A	産業経済部	産業政策課
64	創業支援の充実	A	産業経済部	産業政策課
65	新しい事業活動への支援	A	産業経済部	にぎわい商業課
66	就労支援	B	産業経済部	産業政策課
67	中心商店街の魅力向上	A	産業経済部	にぎわい商業課
68	利便性と回遊性の向上	B	産業経済部	にぎわい商業課
69	街なか活性化に向けた仕組みづくり	A	産業経済部	にぎわい商業課
70	街なか文化の充実と発信	A	産業経済部	にぎわい商業課
71	6次産業化の推進	A	農政部	農林課
72	農畜産物のブランド化推進	A	農政部	農林課
73	新しい農業の推進	B	農政部	農林課

74	農畜産物の販路拡大	A	農政部	農林課
75	地産地消の推進	B	農政部	農林課
76	新規就農者及び農業後継者等の支援	A	農業委員会事務局	
77	農用地利用集積の推進	A	農業委員会事務局	
78	遊休農地の有効活用	B	農業委員会事務局	
79	優良農地の整備	A	農政部	農村整備課
80	赤城山観光の充実	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
81	都市観光の充実	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
82	前橋観光の積極的なPR	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
83	観光施設・観光情報の充実	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
84	ホスピタリティの充実	B	文化スポーツ観光部	観光振興課
85	地域特性を活かした食によるまちづくり	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
86	前橋ブランドの販売促進	A	文化スポーツ観光部	観光振興課
87	地域課題の対応した社会教育の充実	A	教育委員会事務局	生涯学習課
88	生涯学習施設の充実	A	教育委員会事務局	生涯学習課
89	資料・情報の提供と調査・相談機能の充実	A	教育委員会事務局	図書館
90	図書館施設の充実	A	教育委員会事務局	図書館
91	地域における青少年健全育成活動の推進	A	教育委員会事務局	青少年課
92	非行防止・被害防止活動の充実	A	教育委員会事務局	青少年課
93	児童文化センターの活用と機能充実	A	教育委員会事務局	青少年課
94	学校経営の改善・充実	A	教育委員会事務局	学校教育課
95	安全で安心な学校（園）施設整備の推進	A	教育委員会事務局	教育施設課
96	地域との連携・人材活用	A	教育委員会事務局	学校教育課
97	基礎・基本の確実な定着	A	教育委員会事務局	学校教育課
98	不登校・いじめ対策の充実	A	教育委員会事務局	青少年課
99	特別支援教育の推進	A	教育委員会事務局	学校教育課
100	現代の教育ニーズに応じた多様な教育の推進	A	教育委員会事務局	学校教育課
101	高等教育機関の活用推進	A	政策部	政策推進課
102	生涯スポーツの普及・振興	A	文化スポーツ観光部	スポーツ課
103	スポーツ施設整備	A	文化スポーツ観光部	スポーツ課
104	スポーツ大会開催支援	A	文化スポーツ観光部	スポーツ課
105	地域貢献プロスポーツの支援	A	文化スポーツ観光部	スポーツ課
106	アーツ前橋の運営	A	文化スポーツ観光部	文化国際課
107	芸術文化事業の推進	A	文化スポーツ観光部	文化国際課
108	萩原朔太郎を核とした芸術文化の推進	A	文化スポーツ観光部	文化国際課
109	歴史学習施設の充実	A	教育委員会事務局	文化財保護課
110	重要史跡の保存	B	教育委員会事務局	文化財保護課
111	地域づくり活動の促進	A	市民部	生活課
112	活力ある市民活動の促進	A	市民部	生活課

113	市政情報の積極的な発信	A	政策部	市政発信課
114	市民の声の的確な把握	A	政策部	市政発信課
115	男女共同参画の推進	A	市民部	生活課
116	業務改善・改革の推進	A	総務部	行政管理課
117	民間活力を活用した行政活動の促進	A	総務部	行政管理課
118	信頼される市役所づくり	A	総務部	職員課
119	公共施設管理の合理化・効率化	A	財務部	資産経営課
120	市有財産の有効活用	A	財務部	資産経営課
121	安定的な財源確保	A	財務部	収納課
122	トップマネジメント機能の強化	A	政策部	政策推進課
123	周辺都市との連携強化	A	政策部	政策推進課
124	行政手続きの電子化推進	A	政策部	情報政策課
125	I C Tを活用した改革の推進	A	政策部	情報政策課

後期実施計画（主要事業）の進捗状況一覧

A 概ね順調に進んでいる	・目標達成に向け順調に移している	89%（ 111 事業 ）
B 少し遅れている	・目標達成に向け、取組方針の見直しや改善が求められる ・貢献度の小さい個別事業について、有効性を上げるための検討が必要	11%（ 14 事業 ）
C 遅れている	・目標達成に向かっていないため、指標や手段の再検討が必要 ・実績が上がっていない個別事業の廃止を含めた抜本的見直しが必要	0%（ 0 事業 ）
計		100%（ 125 事業 ）

No	1	大綱 I 政策 O1 施策 O1 事業 O1 担当課 都市計画課 主要 O 一般														
事業名		計画的な土地利用の推進			目的 (目標)		超高齢社会や人口減社会が進展する中、地域の活力や集落のコミュニティを維持・向上し、持続可能なまちづくりを進めるため、合理的で適正な土地利用を推進します。また社会経済情勢の大きな変化に合わせ、地域の特性や実状を考慮しながら効率的で秩序ある市街地の形成を図ります。									
計画上の 測定指標		—			目標値 (H29)		—		実績値 の推移		H25	H26	H27	H28	H29	
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
		○		A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性)										
				B 少し遅れている		・市街地調整区域における地区計画運用指針を策定するとともに、富士見都市計画区域の統合に向けた取組を進めるなど、概ね順調に進んでいる。										
				C 遅れている		・引き続き、社会経済情勢を考慮しながら、持続可能なまちづくりに資する土地利用を推進していただきたい。										

No	2	大綱 I 政策 O1 施策 O1 事業 O2 担当課 市街地整備課 主要 ○ 一般												
事業名		都心核の形成			目的 (目標)		中心市街地エリアの魅力づくりと来街者の回遊性向上のため、快適な都市空間の創出に向けた基盤整備等について実施・検討します。							
計画上の 測定指標	—			目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する												
		○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性)									
			B 少し遅れている		・市街地総合再生計画の策定に続いて、立地適正化計画の策定に取り組み、民間主体の再開発を促進している。									
			C 遅れている		・今後は、交通ネットワークの再編に係る事業とも連携しながら、都市のコンパクト化を進めていただきたい。									

No	3	大綱 I 政策 O1 施策 O1 事業 O3 担当課 市街地整備課 主要 ○ 一般												
事業名		地域核・地域拠点の整備		目的 (目標)	多様な都市機能と交通利便性の高い鉄道駅を活かしたまちづくりを進めるため、駅周辺の整備を推進するとともに、周辺地域の発展を図ります。									
計画上の 測定指標	低未利用地面積の低減			目標値 (H29)	19.0 %		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								17.4	17.2	16.9				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・新前橋駅周辺の区画整理は、着実に進行しており、低未利用地面積について、順調に低減が進んでいる。 ・群馬総社駅周辺についても、事業化に向けた取組を進め、地域核・地域拠点として、周辺地域の発展に寄与するまちづくりを推進していただきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	4	大綱		I	政策	O1	施策	O2	事業	O1	担当課	区画整理事業		主要	O	一般
事業名		土地区画整理事業（市施行）の推進				目的（目標）		暮らしやすい環境づくりのため、道路や公園等の公共施設の整備改善及び宅地利用の増進を図るとともに、都市防災に強い安全安心な市街地整備を推進します。								
計画上の測定指標	土地区画整理事業による市街地整備率（市施行）					目標値（H29）	79.0 %		実績値の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
										71.6	71.6	71.6				
進捗状況と今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する															
		A 概ね順調に進んでいる				（理由、今後の方向性） ・暮らしやすい市街地の整備に向けて、区画整理を進めており、平成28年度に新前橋駅前第二地区の換地処分が行われたが、複数の地区で事業期間の延伸が見込まれる。 ・今後は、事業計画に位置づけた区画整理事業について、事業の平準化を含めた多角的な検討を行いながら、事業を実施していただきたい。										
	○	B 少し遅れている														
		C 遅れている														

No	5	大綱													I	政策	O1	施策	O2	事業	O2	担当課	区画整理課			主要	O	一般
事業名		土地区画整理事業 (組合施行)の支援・促進					目的 (目標)		組合等が施行する土地区画整理事業の円滑な実施を支援するため、整備費を助成し、健全な市街地の形成、公共の福祉の増進を図ります。																			
計画上の 測定指標	土地区画整理事業 (組合等施行)の進捗率					目標値 (H29)	487.0 ha		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29														
										467.5	467.5	467.5																
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																					
		B 少し遅れている					・南部拠点西地区の区画整理については、平成28年度中に換地処分が行われる予定である。これにより、平成28年度には目標値に達する見込みである。 ・引き続き、組合解散に向けた調整を継続していただきたい。																					
		C 遅れている																										

No	6	大綱													I	政策	O1	施策	O3	事業	O2	担当課	建築住宅課			主要	O	一般
事業名		市営住宅の維持管理と有効活用					目的 (目標)		良好な住環境の形成を図るため、老朽化した市営住宅の建替えや用途廃止を推進します。また、適切な維持管理を行い市営住宅の長寿命化を図ります。																			
計画上の 測定指標	市営住宅管理戸数等						目標値 (H29)	5,394 戸		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29													
											5,508	5,444	5,444															
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																					
		B 少し遅れている					・老朽化市営住宅の建替え事業をととして、目標値に向けて計画的な事業進捗が図られている。																					
		C 遅れている					・国庫補助の交付率が低下している中で、今後予定されている住み替えに係る移転補償等について適切な財源確保を行っていただきたい。																					

No	7	大綱		I	政策	O1	施策	O3	事業	O3	担当課	建築住宅課	主要	O	一般
事業名		定住促進の強化			目的 (目標)		定住人口を維持、確保していくため、ライフスタイルの変化に合わせた適切な住まいを確保できるよう、市・県・関係団体が連携して適切な情報提供や定住を促進するための居住施策を検討・実施します。								
計画上の 測定指標	—				目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・申請件数が多く、子育て加算についても実績が伸びており、転入促進に寄与している。 ・空き家対策以外の定住促進についての支援制度も検討を行っていただきたい。									
		B 少し遅れている													
		C 遅れている													

No	8	大綱													I	政策	O1	施策	O4	事業	O1	担当課	都市計画課	主要	O	一般		
事業名		景観の保全と創出										目的 (目標)		本市には、赤城山に代表される美しい自然的景観や、風格ある歴史的建造物・文化遺産など、数多くの地域資源が残されています。このような豊かな自然と、ゆとりと潤いにあふれる景観を守り創るため、市民・事業者・行政が一体となって景観づくりを推進します。														
計画上の 測定指標		景観重要建造物の指定箇所数										目標値 (H29)		5		箇所	実績値 の推移		H25		H26		H27		H28		H29	
																	0		0		0							
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																										
				A 概ね順調に進んでいる										(理由、今後の方向性)														
		○		B 少し遅れている										・景観重要建造物の指定に向けて、候補物件の調査を実施している段階である。														
				C 遅れている										・地域住民との調整を十分に図りながら、景観形成重点地区や景観重要建造物の指定に向けた事業を加速していただきたい。														

No	9	大綱													I	政策	O2	施策	O1	事業	O1	担当課	都市計画課	主要	O	一般
事業名		国・県等連携事業の促進					目的 (目標)		市内交通循環の円滑化や他都市への移動・交流を促進するため、国や県と連携・協力し幹線道路等のネットワーク構築を図ります。																	
計画上の 測定指標	駒寄スマートICにおける 大型車利用台数					目標値 (H29)	600		台/日	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29											
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																								
				A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・駒寄スマートICの大型車対応化に向けて、調整を継続しているが、進捗はやや鈍い状況である。 ・市内交通の円滑化に向けて、関係者との丁寧な協議、調整を重ねながら、事業化への取組を進めていただきたい。																	
		○		B 少し遅れている																						
				C 遅れている																						

No	10	大綱		I	政策	O2	施策	O1	事業	O3	担当課	道路建設課	主要	O	一般
事業名		幹線道路等の整備				目的 (目標)		市内の交通循環の円滑化を図ることにより、市民の利便性や生活環境が向上するとともに、地域の活性化にもつながるため、また、病人やけが人の救急搬送や災害発生時の輸送路としても整備が必要となることから、市内の幹線道路等を計画的に整備します。							
計画上の 測定指標	市道における 規格改良済み率の向上					目標値 (H29)	59.1	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	
										58.4	58.8	59.2			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・H27年度実績において、目標値が達成されている。 ・道路整備事業全般において国庫補助の交付率が低下しており、財源の確保が課題となっている。新たな補助の導入など財源確保に向けた取組を進めていただきたい。								
		B 少し遅れている													
		C 遅れている													

No	11	大綱		I	政策	O2	施策	O1	事業	O4	担当課	道路管理課	主要	O	一般
事業名		道路・橋りょうの維持補修				目的 (目標)		道水路については、安全な通行確保及び市民生活環境の向上を図るための維持補修を行ないます。並びに、通学路や学校周辺における交通事故防止を目的とした道路環境の整備を行ないます。また、橋りょうについては、将来的な改築費用削減や長期にわたる安全性を保つため、計画的な修繕を実施し、橋りょうの長寿命化を図ります。							
計画上の 測定指標	—					目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・道路・橋りょうの維持補修については、恒久的な事業であるなかで、費用対効果や将来的な財政負担の平準化などを勘案した取り組みが行なわれている。 ・事業の特性上、随時対応が必要であることが多いが、その中でも計画性を持った対応を行っていただきたい。									
		B 少し遅れている													
		C 遅れている													

No	12	大綱													I	政策	O2	施策	O2	事業	O1	担当課	交通政策課		主要	O	一般
事業名		鉄道の活性化					目的 (目標)		鉄道の利便性及び快適性の向上を図るため、鉄道事業者、沿線自治体、関係機関と連携し、利用者増となる利用促進策を展開することで、軌道交通の活性化を進めます。																		
計画上の 測定指標		市民1人当たりの 年間平均鉄道利用回数					目標値 (H29)		52.0 回		実績値 の推移		H25		H26		H27		H28		H29						
													53.3		52.2		53.5										
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
		○		A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・前橋駅北口パークアンドライド駐車場やサイクルツリーの整備等を通じ、利便性向上に努め、鉄道利用者増に向けての取り組みを進めている。																		
				B 少し遅れている					・地域公共交通網形成計画について、関係機関との連携のもと策定を進め、今後懸念される鉄道利用者の減少等の課題の解消についても協議を行っていただきたい。																		
				C 遅れている																							

No	13	大綱													I	政策	O2	施策	O2	事業	O2	担当課	交通政策課			主要	○	一般
事業名		バス交通網の維持活性化										目的 (目標)		バス路線の充実をはじめ、地域の特性や実情に即したバス交通のあり方を検討し、路線バスの利便性及び利用率の向上を図ります。														
計画上の 測定指標		市民1人当たりの年間平均 委託路線バス利用回数										目標値 (H29)		3.0		回	実績値 の推移		H25		H26		H27		H28		H29	
																			2.9		3.0		2.9					
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																										
		○		A 概ね順調に進んでいる										(理由、今後の方向性)														
				B 少し遅れている										・委託路線バス利用回数についてはほぼ目標値に達しており、概ね順調に進んでいる。 ・引き続き公共交通不便地域の解消等について検討を進めることにより、市民生活の充実を図っていただきたい。また、マイタク事業についても利用実態調査を進め、さらなる利便性の向上を図っていただきたい。														
				C 遅れている																								

No	14	大綱		I	政策	O3	施策	O1	事業	O1	担当課	水道整備課	主要	O	一般
事業名		水道施設の整備				目的 (目標)	高度成長期に集中的に整備された水道施設の老朽化が進み、更新期を迎えている。また、地震対策としての水道施設の耐震化も急務となっており、更新事業を推進し、より安全で安心な水道水の安定供給と災害に強い水道施設の構築を図ります。								
計画上の 測定指標	市民一人当たり貯留飲料水量				目標値 (H29)	285	ℓ/人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								282	283	283					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・浄水場の改築工事や老朽化施設の耐震化計画をとおして、目標値に向けて一定の進捗が図られている。 ・施設全般において、計画的に老朽化、耐震化対策を行っていただきたい。									
		B 少し遅れている													
		C 遅れている													

No	15	大綱 I 政策 O3 施策 O2 事業 O1 担当課 下水道整備課 主要 ○ 一般												
事業名		公共下水道の整備		目的 (目標)	快適で衛生的な生活環境の促進と公共用水域の水質保全を図るため、地域の実情に応じた汚水処理を行うとともに、増大する下水道施設の計画的な維持・更新を図ります。									
計画上の 測定指標	公共下水道普及率			目標値 (H29)	70.2 %		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								69.5	69.9	70.2				
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する												
		○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・計画的な公共下水道の整備や整備地区における普及促進活動をと して、順調に目標値に向けた進捗が図れている（H27年度目標値達 成） ・「未来に向け継続可能な下水道」の実現のため、施設の改築・更 新、耐震化など新たな目標値の設定について検討していただきたい。								
			B 少し遅れている											
			C 遅れている											

No	16	大綱 I 政策 03 施策 02 事業 03 担当課 下水道施設課 他 主要 ○ 一般												
事業名		水質浄化、処理施設の維持・更新			目的 (目標)		下水道やその他の汚水処理施設から排出される汚水を適正な水質へ浄化・処理するため、水質浄化・処理施設の維持・更新を図ります。							
計画上の 測定指標	—			目標値 (H29)	—	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・汚泥炭化施設について、計画的な整備が進められている。また、水質浄化センターについては改築更新に向けた作業、検討が進められている。 ・水質浄化センターの改築更新については、膨大な事業費が予想されることから、その方針決定においては十分な検討を行っていただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	17	大綱 I 政策 04 施策 01 事業 01 担当課 危機管理室 主要 ○ 一般												
事業名		自主防災の支援		目的 (目標)		自主防災組織の活動は、災害発生時の初期対応において非常に有効であることから、その組織率アップを図るとともに、組織運営に係る情報提供や必要資機材の購入補助を通じて活動の活性化支援を行います。また市主催の総合防災訓練への市民参加を通じて市民の防災意識高揚を図っていきます。さらには自主防災組織への指導助言を行う防災リーダーの育成にも努めていきます。								
計画上の 測定指標	自主防災組織の設立数			目標値 (H29)	285 団体	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							190	205	207					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・平成27年度は2団体の増加に留まったため。 ・この鈍化を改善するため、平成28年度当初の自治会連合会事務連絡会議や各地区連合会の会議にて、直接、設立依頼する等、組織化の推進を図っている。平成28年11月末現在で、全設立数は222となった。引き続き啓発活動を推進していただきたい。										
	○	B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	18	大綱													I	政策	04	施策	01	事業	02	担当課	危機管理室	主要	○	一般			
事業名		災害対策の強化													目的 (目標)		原発事故に伴う放射線については、必要に応じ外部の専門的知見も参考にしながら庁内横断的に対策を講じていきます。また大規模災害に備え、非常用食糧及び生活関連の資機材等を計画的に備蓄していきます。併せて減災の観点から、旧耐震基準に係る木造住宅の耐震化促進や、準用河川等の整備を図っていきます。												
計画上の 測定指標	食糧備蓄数													目標値 (H29)	168,300	食	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29							
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
		○	A 概ね順調に進んでいる													(理由、今後の方向性) ・防災備蓄倉庫については、平成28年度に前倒して事業実施する予定であり、これと合せ、食料備蓄数についても平成28年度中に目標値を達成する見込みである。 ・引き続き、災害対策の強化に向けて、関係課が連携した取り組みを進めていただきたい。													
		B 少し遅れている																											
		C 遅れている																											

No	19	大綱 I 政策 04 施策 01 事業 03 担当課 危機管理室 主要 ○ 一般												
事業名		防災体制の充実		目的 (目標)		本市住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、関係機関及び他の地方公共団体の協力を得て策定している地域防災計画について、必要に応じて随時見直しを行い、市全体として遅滞なく災害時に対応できるようにします。また、災害時においても市役所全体の機能を維持し、災害時及び平常時の両面の対応をできるよう、業務継続計画を策定します。								
計画上の 測定指標	要援護者避難支援計画の策定数 (自治会数)			目標値 (H29)	285 団体	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							202	245	247					
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する												
		○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・平成27年度は2団体の増加に留まったが、避難行動要支援者支援計画書の登録者数は1,444人となっている（平成28年10月31日現在）。 ・平成28年度は民生委員児童委員連絡協議会に、避難行動要支援者の掘起こしと登録勧奨を依頼し、事業の周知を図った。引き続き啓発活動を推進していただきたい。									
			B 少し遅れている											
			C 遅れている											

No	20	大綱	I	政策	04	施策	02	事業	01	担当課	危機管理室	主要	○	一般
事業名	自主防犯の支援	目的 (目標)	市民による防犯活動を活性化するため、装備品（防犯用ベスト・腕章）の提供等の支援により、防犯活動の質の向上を図ります。また、青色回転灯や防犯パトロール用ステッカーの貸し出しを通じ、青色防犯パトロールの実施を推進します。また従来自治会で管理していた防犯灯を、設備の更新に係る初期投資なく省エネルギー化と維持管理費の低減を図ることのできるESCO事業を活用して市が管理を行い、市民生活の夜間の安全を確保します。											
計画上の 測定指標	市内刑法犯認知件数	目標値 (H29)	3,500	件以下	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	3,392	3,311	2,954	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる B 少し遅れている C 遅れている （理由、今後の方向性） ・市民レベルの防犯活動の活性化及び防犯意識の向上により、各年ともに、目標値を下回る実績を残しているため。平成28年度も平成27年度の実績をさらに下回る見込である。 ・引き続き、各事業を計画通り進めていただくとともに、民間と連携した事業展開を検討していただきたい。													

No	21	大綱	I	政策	04	施策	03	事業	01	担当課	消防局総務課	主要	○	一般
事業名	消防施設・設備の充実	目的 (目標)	地震や台風など大規模化、複雑化する災害に迅速・的確に対応するため、庁舎の耐震化をはじめとする消防施設・設備の充実強化を図ります。											
計画上の 測定指標	消防庁舎の耐震化率	目標値 (H29)	100	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	82	82	82	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる B 少し遅れている C 遅れている （理由、今後の方向性） ・消防庁舎の耐震化については、平成28年度に東消防署庁舎の耐震化が終了予定であり、消防力の強化に向けて、消防施設や設備の充実を進めている。 ・引き続き、城南分署及び利根分署の耐震化に向け、環境を整えて迅速に事業を進めていただきたい。													

No	22	大綱	I	政策	04	施策	03	事業	03	担当課	警防課	主要	○	一般
事業名	救助・救急・消火体制の強化	目的 (目標)	各種災害に迅速、的確に対応するため、救助、救急、消火体制の充実強化を図ります。											
計画上の 測定指標	—	目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる B 少し遅れている C 遅れている （理由、今後の方向性） ・各事業とも、計画的に整備・購入を行っており、各種災害に対応できるよう、体制の充実強化を図っている。 ・応急手当普及啓発事業については、市民提案型パートナーシップ事業等、市民との協働体制を活かして効果的な啓発を行っていただきたい。													

No	23	大綱	I	政策	04	施策	04	事業	01	担当課	交通政策課	主要	○	一般
事業名	交通安全対策の充実	目的 (目標)	交通安全に関する各種対策を推進し、交通事故の発生を抑制して、交通事故による死傷者数をできる限り減少させ、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。											
計画上の 測定指標	交通事故死傷者数	目標値 (H29)	4,000	人以下	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	5,041	4,578	4,388	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる B 少し遅れている C 遅れている （理由、今後の方向性） ・交通安全指導や工夫を凝らした交通安全教室を積極的に行った結果、交通事故死傷者数については年々減少しており、目標達成に向け順調に推移している。 ・自転車事故発生率を減少させるためにも、小中学生や高校生、高齢者に対する交通安全教育を充実させ、市民全員が安心して暮らせる交通環境の実現に向け事業を推進していただきたい。													

No	24	大綱		Ⅱ	政策	01	施策	01	事業	01	担当課	公園緑地課	主要	○	一般
事業名		公園・緑地の整備				目的 (目標)		市民の緑豊かな生活環境を実現するため、地域の特性や自然環境に配慮した公園整備を推進します。また整備にあたっては、必要性や優先性の判断に基づく、費用対効果の高い事業実施を目指します。							
計画上の 測定指標	都市公園の整備面積 (一人当たり公園面積)				目標値 (H29)		12.5 m/人		実績値 の推移		H25	H26	H27	H28	H29
											11.1	11.4	11.6		
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている				・国庫補助財源の圧縮に伴う土地区画整理事業など関連事業が遅延することにより、身近な公園の整備計画の事業進捗に影響が生じているが、限られた財源の中で着実に事業を進めている。 ・今後も、関連事業について関係課と連携を図り、計画的な公園整備を進めていただきたい。									
		C 遅れている													

No	25	大綱Ⅱ政策01施策01事業04担当課農林課主要○一般												
事業名		森林整備及び有害鳥獣対策の推進			目的 (目標)		赤城山麓の森林を守るため、病虫害対策や造林・間伐及び保育等により、森林整備を推進し森林・林業の活性化や緑の保全に努めます。また、増加傾向にある有害鳥獣による、各種被害を防止するため、有害鳥獣対策協議会を中心として、被害軽減対策に取り組めます。							
計画上の 測定指標	有害鳥獣捕獲頭数 (イノシシ、シカ)			目標値 (H29)	300頭	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							411	573	572					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・捕獲頭数を増やすだけでなく、獣害防止柵を設置するなど、被害減少に向け、着実に事業を進めている。 ・今後についても、有害鳥獣対策を講じ、森林の整備と併せて推進することで、赤城南麓の森林保全に努めていただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	26	大綱Ⅱ政策01施策02事業03担当課清掃施設課主要○一般												
事業名		環境学習の拠点施設整備・活用			目的 (目標)		ごみ問題や環境への理解・認識を深めてもらうため、小中学生や自治会、生涯学習等の各種団体を対象に、清掃施設の見学を実施します。また、環境学習の一助とするため、環境マップの作成や環境学習体験可能施設などの情報提供を行います。							
計画上の 測定指標	施設見学参加人数			目標値 (H29)	7,000 人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							6,434	5,949	5,636					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・現在の施設見学者の9割程度が小学生であり、少子化の影響により参加する児童数も減少傾向にあるが、環境に対する意識の高揚を図る事業を推進している。 ・今後は、社会人等へ施設見学参加の働きかけを行うとともに、施設見学者へのごみの分別体験などの取組を検討していただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	27	大綱Ⅱ政策01施策02事業05担当課環境政策課主要○一般												
事業名		事業者に対する環境配慮意識の啓発			目的（目標）		事業所等が行う環境配慮型事業の支援を行うとともに、事業所と連携した環境保全活動を促進し、産官学一体となった環境への取り組みを推進します。							
計画上の測定指標	協定締結に伴う公害防止計画の策定率				目標値（H29）	100	%	実績値の推移	H25	H26	H27	H28	H29	
									100	100	100			
進捗状況と今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			（理由、今後の方向性） ・工業団地への進出企業すべてに対して協定締結ができているため、順調に推移している。 ・引き続き、進出企業と協定締結ができるよう努めていただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	28	大綱	Ⅱ	政策	O2	施策	O1	事業	O1	担当課	ごみ減量課	主要	O	一般
事業名	ごみの発生抑制の促進			目的 (目標)	生活ごみの3R推進を図るため、小中学校の現場や子育て講座、高齢者等各世代の生活に沿った啓発を実施し、ごみ問題に関する正しい知識の普及と関心を高め、またマイはし・マイボトル・マイバッグの推奨、宴会等での食べ切り運動などごみの発生抑制に係るキャンペーンを実施するとともに、ごみ減量化器具・設備の導入促進に努めることにより生ごみの減量を図ります。									
計画上の 測定指標	市民1人1日あたりの 家庭ごみ排出量 (資源ごみを除く)			目標値 (H29)	511	g	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								594	593	583				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する (理由、今後の方向性) ・平成28年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画で定めた目標値(H32年度までに549g)の着実な達成を目指している。 ・行政だけでなく、地域や学校と連携をしながら、ごみ減量の啓発活動を進めていただきたい。													
		A	概ね順調に進んでいる											
		O	B 少し遅れている											
			C 遅れている											

No	29	大綱	Ⅱ	政策	O2	施策	O1	事業	O2	担当課	ごみ減量課	主要	O	一般
事業名	ごみの再利用・再生利用の促進			目的 (目標)	各家庭で利用されているごみ収集カレンダーを積極的に活用し、市全体の資源化率向上を図ります。リユース市の開催にあたっては、地域のボランティアや参加者と連携し、3Rに関する効果的な啓発を実施します。また、地域で行われる有価物集団回収事業を支援することにより、古紙の回収・リサイクルに努め、新たに小型家電の回収も開始し、レアメタル等のリサイクルにも努めます。									
計画上の 測定指標	ごみ再生利用率 (リサイクル率)			目標値 (H29)	27.0	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								18	18	19				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する (理由、今後の方向性) ・買取価格が下落傾向にあることから、リサイクル市場を取り巻く環境は厳しい状況にある。 ・リサイクル率を向上させるために、資源化の促進に向けて引き続き市民への啓発活動等を実施していただくとともに、新たな施策の検討を行っていただきたい。													
		A	概ね順調に進んでいる											
		O	B 少し遅れている											
			C 遅れている											

No	30	大綱	Ⅱ	政策	O2	施策	O1	事業	O3	担当課	ごみ減量課	主要	O	一般
事業名	事業所ごみの減量			目的 (目標)	市内各事業者に対して、一般のごみ集積場所に事業ごみを排出しないよう啓発するとともに、紙ごみ等のリサイクルについて協力を依頼し事業系ごみの減量に努めます。									
計画上の 測定指標	事業所ごみ排出量			目標値 (H29)	32,000	t	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								35,564	35,220	28,757				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する (理由、今後の方向性) ・産業廃棄物の混入を防ぐために実施する展開検査の強化や事業所ごみの不適正排出に対する指導件数の増加により、排出量を大幅に削減できている。 ・引き続き、事業所ごみ排出量減少に向けた取り組みを実施していただきたい。													
		O	A 概ね順調に進んでいる											
			B 少し遅れている											
			C 遅れている											

No	31	大綱	Ⅱ	政策	O2	施策	O2	事業	O2	担当課	清掃施設課	主要	O	一般
事業名	ごみ処理施設の整備・充実			目的 (目標)	ごみ焼却施設である六供、竜泉、大胡の現有3清掃工場は、いずれも稼働後20年以上が経過し老朽化が進んでいることから、平成24年度に策定した清掃施設整備方針に基づき、基幹施設である六供清掃工場を中心に延命化計画を進めます。また、同じく20年以上経過した、不燃・資源ごみ処理施設である荻窪清掃工場の整備手法について検討を行います。									
計画上の 測定指標	資源化施設における資源化量			目標値 (H29)	7,100	t	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								6,869	6,763	6,708				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する (理由、今後の方向性) ・ごみの排出量も減少傾向にあるため、資源化量も減少傾向にあるものの、ごみの総排出量に対するごみの資源化割合を高めている。 ・六供清掃工場の延命化工事は、計画通りに進めていただき、六供清掃工場延命化工事終了後の既存工場の在り方や、次期最終処分場候補地について検討していただきたい。													
		O	A 概ね順調に進んでいる											
			B 少し遅れている											
			C 遅れている											

No	32	大綱	Ⅱ	政策	03	施策	01	事業	01	担当課	環境政策課	主要	○	一般
事業名		CO2削減の推進			目的 (目標)		地球温暖化防止に向けた取組を推進するため、市民・事業者にも普及啓発活動を行うとともに、市役所における地球温暖化防止に向けた省エネルギー・省資源などを推進します。							
計画上の 測定指標	温室効果ガス（CO2）排出量			目標値 (H29)	2,075	千以下	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								2,594	—	—				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる			（理由、今後の方向性） ・東日本大震災以降の電気使用量に係る排出係数の悪化に伴いCO2排出量は増加傾向にある。（実績値は国・県データを基に推計しており、最新データの公表が2年後となるため、H26年度実績はH28年度末に算出予定である。） ・環境啓発活動については、事務負担の少ない方法を検討していただきたい。									
	○	B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No 33		大綱		Ⅱ	政策	03	施策	02	事業	01	担当課	清掃施設課		主要	○	一般
事業名		エネルギーと資源の有効活用				目的 (目標)		可燃ごみを焼却処理した後の焼却灰は、従来は全量を市有の最終処分場へ運搬し埋立処分していましたが、資源化の向上と最終処分場の延命化を図るため、処理委託により焼却灰の資源化を推進します。								
計画上の 測定指標	焼却灰の資源化量				目標値 (H29)	2,516	t	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
									454	557	1,015					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する															
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・最終処分場の延命化及び資源化の向上にむけて、焼却灰の資源化量の増加を進めている。 ・今後は、資源化技術の検証などもあわせて進めていただきたい。										
		B 少し遅れている														
		C 遅れている														

No	34	大綱Ⅱ政策03施策02事業02担当課環境政策課主要○一般												
事業名		新エネルギーの導入促進		目的 (目標)	地域資源の有効活用と環境負荷を低減するため、地域特性にあった新エネルギーの導入を進め、低炭素社会を実現します。									
計画上の 測定指標	太陽光発電による 発電能力量（累計）			目標値 (H29)	89,000 kW		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								56,735	97,000	159,600				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			（理由、今後の方向性） ・荻窪、中之沢太陽光発電事業が開始されたことに伴い、目標を達成することができている。 ・新エネルギー導入に向けて関係課と連携し、課題を整理しながら取り組んでいただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	35	大綱Ⅱ政策03施策02事業03担当課環境政策課主要○一般												
事業名		次世代技術の導入促進		目的 (目標)		エネルギーや資源の有効活用に向けて、新しい技術を研究及び導入促進することを目的とします。 ・環境に負荷の少ない電気自動車のインフラ整備 ・エネルギー有効活用に向けたスマートグリッド導入検討								
計画上の 測定指標	公用車における 電気自動車の占める割合			目標値 (H29)	1.0	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								0.4 (3/728)	0.5 (4/733)	0.5 (5/736)				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・EV公用車は、コスト面で導入が難しい状況であるが、充電器の運用について改善を図っている。 ・今後は、充電施設の設置など民間と連携した取り組みを進めるとともに、スマートグリッドについては、民間の動向を探りながら引き続き研究を進めていただきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	36	大綱	Ⅲ	政策	01	施策	01	事業	01	担当課	健康増進課	主要	○	一般
事業名	健康づくりの推進	目的 (目標)	市民の健康寿命の延伸と生活の質の向上を図るため、生活習慣病の予防や精神保健福祉に関する正しい知識の普及、啓発を行い、「自分の健康は自分で守る」意識と自覚を高め、健康の保持増進を図る事業を実施します。											
計画上の 測定指標	—	目標値 (H29)	—	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・健康教室の開催について、保健センター等での開催に留まらず、地域に出向いて開催する等、積極的に市民の健康づくりに対する取り組みを行っている。 ・引き続き食育等と併せて健康増進を推進していただくとともに、特定保健指導の実施率向上に向けた取り組みも進め、市民の健康寿命の延伸を図っていただきたい。また、身体のみでなく心の健康づくりも引き続き積極的に取り組んでいただき、市民の心身の健康増進を図っていただきたい。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	37	大綱	Ⅲ	政策	01	施策	01	事業	02	担当課	健康増進課	主要	○	一般
事業名	疾病予防の充実	目的 (目標)	生活習慣病など疾病の早期発見、早期治療に結びつけるため、各種の健康診査を実施して、市民の主体的な健康意識を高め、健康保持、増進を図ります。											
計画上の 測定指標	子宮頸がん検診受診率	目標値 (H29)	50	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
						53.5	54.0	56.3						
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・健診未受診者等に対する周知方法を検討・強化することにより、特定健診やがん検診の受診率はほとんどの項目で増加しており、疾病の早期発見に寄与している。 ・スマイル健診について、事後指導を徹底することにより、健診受診の効果を最大限に発揮し、市民の健康保持・増進を図っていただきたい。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	38	大綱	Ⅲ	政策	01	施策	02	事業	01	担当課	保健総務課	主要	○	一般
事業名	地域医療環境の充実	目的 (目標)	市民が安心して医療を受けられるよう、医療機関や関係団体と連携し、医療環境づくりを推進します。											
計画上の 測定指標	病院・有床診療所・薬局・薬店 への立入検査・監視件数	目標値 (H29)	110	件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
						94	101	102						
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・立入検査・監視件数については着実に増加しており、市民が安心して医療を受けられるような医療環境づくりに向けて取り組んでいる。 ・引き続き医療施設、薬局等の監視指導を積極的に実施していただき、市民生活の質向上に向け取組みを進めていただきたい。また、夜間急病診療所の移転については、関係課・医師会等との密な連携のもと、事業を推進していただきたい。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	39	大綱	Ⅲ	政策	01	施策	02	事業	02	担当課	保健総務課	主要	○	一般
事業名	救急医療体制の充実	目的 (目標)	休日及び夜間において、急病者が安心して診療が受けられるよう、初期救急医療体制の確保を図ります。											
計画上の 測定指標	—	目標値 (H29)	—	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・夜間急病診療所での休日午前診療を行うなど、救急医療体制の充実を図っている。 ・休日当番医の混雑緩和に向けた休日当番医制の運営方法及び夜間急病診療所の活用を前橋医師会と検討していただき、市民の利便性向上とともに、医師の負担減についても取り組みを進めていただきたい。											
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	40	大綱Ⅲ政策01施策02事業03担当課国民健康保険課主要○一般												
事業名		国民健康保険制度の適正な運営		目的（目標）		国民健康保険は、被保険者の疾病、負傷、出産や死亡に対して保険給付を行う医療保険制度です。安定した制度運営のために、被保険者資格の適用の適正管理や医療費の適正化を図り、国民健康保険財政の健全化に努めます。								
計画上の測定指標	ジェネリック医薬品の利用率		目標値（H29）	38	%	実績値の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							34	38	42					
進捗状況と今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		（理由、今後の方向性） ・ジェネリック医薬品差額通知の対象範囲の拡充等の取り組みを行っており、結果としてジェネリック医薬品の利用率は増加している。 ・限度額適用認定証年次更新の際の勧奨通知廃止については、市民の理解を得るためにも、引き続き十分な説明を行っていただきたい。また、ジェネリック医薬品の利用促進についても、周知・広報を強化することにより、目標値の達成及びさらなる利用率の向上に向け取り組みを進めていただきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	41	大綱Ⅲ政策01施策03事業03担当課保健予防課主要○一般												
事業名		感染症対策の充実		目的 (目標)		乳幼児から高齢者までを対象とした予防接種の実施と、広く市民に対する感染症の啓発活動等を通じて、健康被害の未然防止に努めます。 また、感染症発生時には医療機関と緊密な連携を図り、感染拡大の防止と患者への対応に取り組みます。								
計画上の 測定指標	子どもの予防ワクチンの接種率 (ヒブ・小児用肺炎球菌)		目標値 (H29)	90.0	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							113.1(ヒブ) 105.5(肺炎)	104.0(ヒブ) 103.8(肺炎)	102.0(ヒブ) 102.3(肺炎)					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・関係課と連携して積極的な周知を行うことにより、子どもの予防ワクチンの接種率は高い数値を維持している。 ・引き続き関係機関との連携を図っていただき、感染症発生時には迅速な対応をし、市民の健康被害の未然防止に努めていただきたい。また、今後も予防接種の定期接種化については拡充されることが見込まれるので、財源等の課題についても協議を進めていただきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	42	大綱Ⅲ政策02施策01事業01担当課子育て支援課主要○一般												
事業名		親子の健康増進		目的 (目標)		健やかに子どもを産み育てるための事業助成や健康診査事業を充実し、親子の健全な発育・発達のための子育て支援に結びつける。								
計画上の 測定指標	①1歳6か月健康診査の受診率 ②3歳児健康診査の受診率		目標値 (H29)	①96 ②96	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							①97.3 ②94.2	①97.6 ②95.9	①96.4 ②95.8					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・限られた人員、体制の中で、5歳児健診など他市では実施できていない手厚い支援を行っている。 ・専門職の確保に向けて継続的に取り組むとともに、健診後のフォローの充実を図れるよう検討を進めていただきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	43	大綱Ⅲ政策02施策02事業01担当課子育て施設課主要○一般												
事業名		地域における多様な子育て支援		目的（目標）		子育ての負担の緩和を図り、安心して子育てができる環境を整備するため、地域における子育て支援拠点の設置を推進し、地域の実情に応じたきめ細かなサービスの提供（両親の就労などにより保育所の送迎や病後児の看護が困難な場合に対応できる支援サービスや保育料の軽減措置を行い経済的負担を軽減する）を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図ります。								
計画上の測定指標	地域子育て支援拠点事業及び元気保育園子育て応援事業の利用者数			目標値（H29）	79,017人	実績値の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							74,502	72,389	69,391					
進捗状況と今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			（理由、今後の方向性） ・平成27年度の新制度開始により、認定こども園に移行した園が多数ある。認定こども園は地域の子育て支援事業の実施が義務付けられているため、指標数には反映されないものの、子育て支援施策は充実している。 ・社会情勢の変化により保育サービスの需要は高まっているので、支援の充実により子育ての負担軽減をより一層充実していただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	44	大綱Ⅲ政策02施策02事業02担当課子育て施設課主要○一般												
事業名		保育サービスの充実		目的 (目標)		延長保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育の実施及び充実により保育サービスを充実させることで、乳幼児を持つ父母の子育てと就労等の両立を支援します。								
計画上の 測定指標	体調不良児の対応施設数			目標値 (H29)	16	箇所	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								19	18	20				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性)										
		B 少し遅れている		・認定こども園をはじめとして、新たに看護師を配置し体調不良児保育を実施する園が増えており、目標値を上回っている。										
		C 遅れている		・要望が多様化しているので、引き続きサービスの充実を図っていただきたい。また、病児・病後児保育については、助成制度などの誘導策の検討も含め、多方面からの取り組みを進めていただきたい。										

No	45	大綱 Ⅲ 政策 02 施策 02 事業 03 担当課 子育て施設課 主要 ○ 一般												
事業名		保育所（園）・幼稚園環境の整備		目的（目標）		市立保育所の適切な維持管理により、入所児童の快適な保育環境を確保します。また、民間保育所及び私立幼稚園の入所児童の快適な保育環境を確保するため、施設整備費を補助します。								
計画上の測定指標	施設整備実施施設（箇所）数			目標値（H29）	市立8 民間6 幼稚園3	箇所/年	実績値の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								市立13 民間10 幼稚園5	市立10 民間10 幼稚園3	市立12 民間9 認可2 幼稚園2				
進捗状況と今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する												
		○	A 概ね順調に進んでいる		（理由、今後の方向性） ・順次施設整備を進めており、目標値を上回る取り組みを行っている。 ・財政面の事情があるが、3歳未満児保育等、緊急性を考慮しながら今後も整備を進めていただきたい。また、今後の必要数についても、あわせて慎重な検討をしていただきたい。									
			B 少し遅れている											
			C 遅れている											

No	46	大綱 Ⅲ 政策 02 施策 02 事業 04 担当課 子育て施設課 主要 ○ 一般												
事業名		児童の健全育成		目的 (目標)		児童に健全な遊びを提供するため、児童館を運営し、児童の健康増進と情操教育、母親クラブ等の組織活動の育成助長を図ります。また、親が子どもを安心して預けられるよう、放課後児童クラブの充実を図り、子育てと仕事の両立を支援します。								
計画上の 測定指標	①児童館数 ②放課後児童クラブ利用者数			目標値 (H29)	①5 ②2,500	箇所 人	実績値 の推移	H25 ①5 ②2,271	H26 ①5 ②2,535	H27 ①5 ②2,874	H28	H29		
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・放課後児童クラブは順次施設整備を進めており、利用者数は目標値を上回っている。 ・入学予定児童数などを見通し、必要性の高い地域から計画的に整備を進めていただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	47	大綱 Ⅲ 政策 02 施策 02 事業 05 担当課 政策推進課 主要 ○ 一般												
事業名		出会いの機会の応援			目的 (目標)		若年男女の結婚への壁の打破に向けて、アクションプランを提言するとともに、新たな出会いにつながるような学び・活動の場を提供することにより、出会いの機会を応援します。							
計画上の 測定指標	—				目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性)								
		B 少し遅れている				・結婚支援は、出会いのマッチングなど直接的な支援と、ライフプラン支援など間接的な支援に大別されるが、間接的支援として、平成28年度中の前橋結婚手帖（仮称）の作成に向け順調に進んでいる。								
		C 遅れている				・今後は、直接的な支援について、国や県と足並みを揃えつつ、実施の是非及び支援方法等を検討していただきたい。								

No	48	大綱Ⅲ政策02施策03事業01担当課子育て支援課主要○一般												
事業名		児童虐待防止対策の充実			目的 (目標)		子どもの健全な育成と家庭への支援を図るため、子どもの養育に関することや家庭からの相談などに対し、適切な助言指導を行うとともに、子どもと家庭に対し、総合的・一体的支援を実施します。							
計画上の 測定指標	児童虐待（疑いを含む）家庭 への対応件数			目標値 (H29)	2,000 件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							2,639	2,597	2,284					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・機動性を持った対応をとることにより、対応件数が目標値を上回っている。 ・各種講座を効果的に、また安定的に継続して実施できるよう職員の養成を図っていただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	49	大綱Ⅲ政策03施策01事業01担当課介護高齢課主要○一般												
事業名		社会参加の促進		目的 (目標)	高齢者が充実した生活を送ることができるよう、生きがいづくりの環境及び施設環境を整え、高齢者の就業機会の拡充や社会参加の促進などに取り組みます。									
計画上の 測定指標	老人福祉センター利用者数			目標値 (H29)	1,000 人/日	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							1,173	1,226	1,022					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・社会参加活動としてさまざまな機会が設定されており、老人福祉センターの利用者数も目標値を上回っている。 ・シルバー人材センターが総合事業の事業実施主体となるなど、高齢者が社会の支え手としての役割を果たせるよう支援していただきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	50	大綱 Ⅲ 政策 03 施策 01 事業 02 担当課 介護高齢課 主要 ○ 一般												
事業名		介護予防事業の推進			目的 (目標)		高齢者ができる限り、介護が必要な状態に陥ることなく、健やかで活力ある自立した生活を送ることができるよう、介護予防を推進します。							
計画上の 測定指標	高齢者に占める 要介護認定者の割合			目標値 (H29)	18.0	%以下	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								18.0	17.6	17.2				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・介護保険制度が開始してから平成25年度まで要介護認定者の割合は右肩上がりだったが、ここ数年は減少しており、介護予防活動の成果が見られる。 ・平成29年度から総合事業を開始し、地域の特性を生かした活動を展開するとともに、高齢者自身がサービス実施の担い手となっていけるよう、活動を支援していただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	51	大綱 Ⅲ 政策 03 施策 01 事業 03 担当課 介護高齢課 主要 ○ 一般												
事業名		包括的支援の充実		目的 (目標)		地域の高齢者が、安心してその人らしい生活を継続できるよう、地域包括支援センターにおいて、総合相談・支援及び、権利擁護、困難事例、ケアマネージャーへの助言・支援等、専門的、継続的な支援を行います。								
計画上の 測定指標	地域包括支援センターにおける 相談件数		目標値 (H29)	11,000 件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
						10,958	12,442	14,623						
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・相談件数が増加しており、相談先としての認知度が高まっていることが推測できる。 ・相談内容が複雑化していることから、より広い分野と連携できるよう体制の構築を進めていただきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	52	大綱		Ⅲ	政策	03	施策	01	事業	04	担当課	介護高齢課	主要	○	一般
事業名		地域包括ケアシステムの構築			目的 (目標)		高齢者が住み慣れた地域で自立して生活続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供していく地域包括ケアシステムの構築を進めます。								
計画上の 測定指標	—				目標値 (H29)		—		実績値 の推移		H25	H26	H27	H28	H29
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・昨年度の準備期間を経て事業の実施段階に移っており、新たな取り組みが始まっている。 ・総合事業の幅を広げられるよう担い手の組織化を進めていただきたい。また、在宅医療への取り組みが進められるよう機運の醸成を図っていただきたい。									
		B 少し遅れている													
		C 遅れている													

No	53	大綱 Ⅲ 政策 03 施策 02 事業 01 担当課 介護高齢課 主要 ○ 一般												
事業名		介護保険給付対象サービスの充実			目的 (目標)		介護が必要になっても、高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らせるよう、介護保険法に基づき、介護サービスの円滑な保険給付を実施します。							
計画上の 測定指標	介護サービス利用者に占める 居宅サービス利用者の割合			目標値 (H29)	82.19 %	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							81.52	82.37	82.87					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・居宅サービス利用者の割合が増加しており、住み慣れた場所での生活を支援することの成果が表れている。 ・地域密着型サービスを今後も計画的に整備していき、在宅生活を続けるための支援をしていただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	54	大綱 Ⅲ 政策 04 施策 01 事業 01 担当課 障害福祉課 主要 ○ 一般												
事業名		自立支援給付サービスの充実		目的 (目標)		障害者が各々の能力や特性に応じて、地域でいきいきと生活することができるよう、指定特定相談支援事業者により作成されたサービス等利用計画案を勘案し適切な自立支援給付の支給決定を行います。また、サービス利用後の事後評価においては、相談支援事業者やサービス事業者等と連携を図りながらモニタリングを実施し、障害者の自立と社会参加に向けた支援の充実に努めます。								
計画上の 測定指標	支給決定を受け 地域生活している人数			目標値 (H29)	2,200 人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							1,830	1,846	1,918					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・サービスの支給決定を受けている人が増加しており、支援を必要とする人へのサービス提供ができている。 ・サービス利用の充実を図るとともに、利用者それぞれのサービス等利用計画に基づき、必要なサービスの提供を行っていただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	55	大綱 Ⅲ 政策 04 施策 01 事業 02 担当課 障害福祉課 主要 ○ 一般												
事業名		障害者の就労支援		目的 (目標)		働く意欲を持った障害のある人が、障害特性や働き方に応じて支援を受けられる環境を充実するとともに、関係機関・施設等との連携を強化し、地域で自立した生活を送るために必要な支援体制整備等を推進します。障害者の働くことへの理解や工賃アップにつなげるための販路拡大、地域との結びつきを目指す活動を支援、推進します。								
計画上の 測定指標	障害者就労支援施設から 一般就労へ移行した人数			目標値 (H29)	16	人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								4	9	13				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・一般就労へ移行した人数は年々増加している。 ・農家の高齢化などと絡め、農業分野での就労の取り組みを含め、引き続き共同受注の拡大を推進していただきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	56	大綱	Ⅲ	政策	04	施策	02	事業	01	担当課	障害福祉課	主要	○	一般
事業名		生活支援サービスの充実			目的 (目標)		障害者が、住み慣れた地域で安心して快適に生活を送ることができるよう、外出支援やコミュニケーションに関する支援等、各々の多様な生活ニーズに対応した福祉サービスの整備・充実を進めます。							
計画上の 測定指標	①移動支援事業の実利用者数 ②障害者成年後見制度支援事業の利用者数			目標値 (H29)	①340 ②23	人	実績値 の推移	H25 ①386 ②5	H26 ①397 ②9	H27 ①425 ②8	H28	H29		
	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
進捗状況 と 今後の方向性	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・移動支援は見込み数を大きく上回っているが、支援を必要とする状況に対応し、サービス提供を行うことができています。また、成年後見も家庭裁判所との連携により必要な対応を行っている。 ・成年後見については、親の高齢化・家族関係の疎遠化等により増加することが見込まれることから、法人後見の整備に向けて検討していただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	57	大綱Ⅲ政策04施策02事業02担当課障害福祉課主要○一般												
事業名		相談支援体制の充実		目的 (目標)		障害者が地域で自立した日常生活を営むことができるよう、障害者や保護者または介護者等からの相談に応じ、必要な福祉サービスの利用に関する情報提供等の支援、虐待の防止や権利擁護に必要な援助など、多様なニーズに対応した的確な相談支援を行います。また、相談支援事業者をはじめ、福祉・保健・医療、教育、雇用等の関係機関で構成する地域自立支援協議会にて、就労支援や社会資源の活用方法等、障害福祉システムづくりを推進します。								
計画上の 測定指標	相談支援事業の利用件数			目標値 (H29)	6,300 件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							4,153	4,692	5,649					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・目標値を大きく超える相談支援事業の利用件数となっており、相談しやすい環境整備を進めていることの成果が見られる。 ・より身近な相談窓口として機能を発揮していけるよう、相談支援専門員のスキルアップに継続的に取り組んでいただきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	58	大綱Ⅲ政策05施策01事業01担当課社会福祉課主要○一般												
事業名		地域福祉活動の活性化		目的 (目標)		地域福祉活動の担い手となる社会福祉協議会・自治会・民生委員児童委員などへの支援を通じて、住民と行政・関係機関・関係団体の連携・協働による、助け合い・支えあいの地域づくりを推進することで、地域福祉活動の活性化を図ります。								
計画上の 測定指標	ふれあい・いきいきサロンの 実施箇所数			目標値 (H29)	300箇所	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							276	280	282					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・ほとんどの自治会でサロン活動が行われており、全市的に地域福祉活動の充実に向けた取組が進んでいる。 ・地域福祉活動をより一層充実させるため、障害者サロンや子育てサロンの設置に向けた取組を進めていただきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	59	大綱Ⅲ政策05施策02事業01担当課社会福祉課主要○一般												
事業名		要保護世帯への支援		目的 (目標)		生活保護制度の適正な運営を図るとともに、生活保護受給者の社会的自立を促進するため、就労が可能な対象者に対して、職業安定所等の関係機関と連携を図りながら、就労活動の支援を実施します。								
計画上の 測定指標	「福祉から就労」支援事業により 支援した人数（就職者数）			目標値 (H29)	100 (60)	名	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								366 (202)	325 (210)	363 (232)				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・ケースワーカー、ハローワークナビゲーターなどが連携し、国の方針と同様、就労支援に積極的に取り組んでいる。 ・雇用契約を結ばない支援付就労などが可能な事業所の開拓に向け、関係部署との連携を進めていただきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	60	大綱 Ⅳ 政策 01 施策 01 事業 03 担当課 産業政策課 主要 ○ 一般												
事業名		中小企業振興の基盤づくり			目的 (目標)		本市の中小企業振興に関する基本理念を定め、市の責務、中小企業者等の努めるべき事項などを明らかにするとともに、市の施策の基本となる事項を定めることにより、中小企業振興に関する施策を総合的に推進します。							
計画上の 測定指標	—			目標値 (H29)	—	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・次期産業振興ビジョン策定に向けて、着実に準備を進めている。 ・「事業承継」、「シニア世代の活用」など、高齢化社会の進展に対応した新たなしごとづくりのニーズについても、今後検討いただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	61	大綱	Ⅳ	政策	01	施策	02	事業	01	担当課	産業政策課	主要	○	一般
事業名		新製品・新技術の開発支援			目的 (目標)		市内企業が活力ある発展のために、積極的な自社独自の新製品・新技術の開発や自社製品の販路開拓に対する支援を行ない、高付加価値の製品づくりを推進します。							
計画上の 測定指標	新製品・新技術開発補助事業 採択件数（５年間の合計値）			目標値 (H29)	25	件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								6	9 (15)	6 (21)				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・目標値の達成に向けて、順調に推移している。 ・引き続き、市内企業の競争力強化や魅力向上に向けて、新製品・新技術開発を後押しするとともに、積極的な情報発信により認知度向上に努めていただきたい。									
		C 遅れている												

No	62	大綱													Ⅳ	政策	01	施策	02	事業	02	担当課	産業政策課		主要	○	一般
事業名		産学官連携の推進					目的 (目標)		市内企業の技術力の向上と高付加価値化を推進するため、企業・大学・研究機関との連携を進め、自社技術の開発や自社製品の開発に向けた取り組みや、研修会・資格取得に対する取り組みを積極的に支援します。																		
計画上の 測定指標	補助全体の件数 (5年間の合計値)					目標値 (H29)	125 件		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29													
										40	50 (90)	68 (158)															
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																										
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																				
		B 少し遅れている					・目標値の達成に向けて、順調に推移している。 ・引き続き、市内大学と市内企業のマッチングにより、企業の稼ぐ力を高めるとともに、積極的な情報発信により認知度向上に努めていただきたい。																				
		C 遅れている																									

No	63	大綱	Ⅳ	政策	01	施策	03	事業	01	担当課	産業政策課	主要	○	一般
事業名		企業誘致の促進			目的 (目標)		地域産業の経営基盤の強化と、本市経済の安定的な発展、また積極的な雇用機会の拡大を目的として、本市に企業が進出できるよう、立地環境や魅力を積極的に情報発信するとともに、立地に対する支援を行います。							
計画上の 測定指標	—			目標値 (H29)		—		実績値 の推移		H25	H26	H27	H28	H29
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・五代南部工業団地（拡張）について、今年度中に進出企業が決定する見込みであり、概ね順調に進んでいる。 ・上武道路全線開通を追い風に、企業進出の高まりは継続しており、次の団地造成の可否について、県とも協議をしながら検討していただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	64	大綱Ⅳ政策01施策03事業02担当課産業政策課主要○一般												
事業名		創業支援の充実		目的 (目標)	本市の起業家の育成と創業を促進するために、経営に関するセミナーやコンサルティングなどを実施します。また、将来の産業を向う小・中・高校生に産業や起業への興味を育むため、体験事業を実施します。									
計画上の 測定指標	創業サポート総合制度 新規利用件数（5年間の合計値）			目標値 (H29)	100 件		実績値 の推移	H25 38	H26 22 (60)	H27 30 (90)	H28	H29		
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する												
		○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・目標値の達成に向けて、順調に推移している。 ・平成27年12月の前橋市創業センター開設により、起業支援の拠点が整ったことから、今後は、開業率の向上及び閉業率の低減に向けて、ソフト事業の充実に取り組んでいただきたい。								
			B 少し遅れている											
		C 遅れている												

No	65	大綱													Ⅳ	政策	01	施策	04	事業	01	担当課	にぎわい商業課	他	主要	○	一般
事業名		新しい事業活動への支援										目的 (目標)		新たな小売形態や消費者ニーズの変化に対応するため、新しい事業活動に取り組もうとする事業者及び商店街への支援を行うとともに、買い物困難者への対応や地域商店の活性化に向けた地域券の導入など、買い物環境の改善に向けた支援のあり方を検討・実施します。													
計画上の 測定指標	—										目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29								
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																										
	○	A 概ね順調に進んでいる										(理由、今後の方向性) ・商店街振興については、団体と連携をしながら、にぎわい創出に向けて継続した取り組みを実施している。その一方で、現行支援制度の課題も表出しており、あるべき姿に対応した新たな支援制度を検討いただきたい。 ・買い物弱者対策については、地域の高齢化に伴いニーズが高まっているものの、支援情報が地域や団体へ十分に届いていない状況であるため、民間の宅配サービスとの整合を踏まえつつ、制度周知を強化していただきたい。															
		B 少し遅れている																									
		C 遅れている																									

No	66	大綱Ⅳ政策01施策05事業01担当課産業政策課主要○一般												
事業名		就労支援		目的 (目標)		失業者や学生等の就職を支援するため、各種セミナーや講座、就労相談等を実施します。また、確かな技術や知識を持った技能者を養成するための職業訓練を推進します。								
計画上の 測定指標	就労相談利用者の就職者数			目標値 (H29)	70人/年	実績値 の推移	H25 30	H26 18	H27 6	H28	H29			
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・企業の景気動向によるところは大きいものの、就労相談利用者の就職者数は近年減少傾向にあり、改善の余地がある。 ・「ジョブセンターまえばし」の開設を契機に、ハローワークとの連携を強化することで、市内における就職者増へつなげていただきたい。									
	○	B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	67	大綱	Ⅳ	政策	02	施策	01	事業	01	担当課	にぎわい商業課	主要	○	一般
事業名		中心商店街の魅力向上			目的 (目標)		多くの人が中心市街地を日常的に訪れ、買い物や余暇を楽しむことができる状況を創出するため、中心商店街の魅力づくりと、空洞化対策の強化を図ります。							
計画上の 測定指標	中心商店街空き店舗数 (27件/H24.7)			目標値 (H29)	17	件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								26	25	18				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・空き店舗数は年々減少しており、概ね順調に推移している。 ・「まちへ訪れる理由」を作ること、中心市街地の活性化に取り組んでいただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	68	大綱 Ⅳ 政策 02 施策 01 事業 02 担当課 にぎわい商業課 主要 ○ 一般												
事業名		利便性と回遊性の向上		目的 (目標)		街なかの低未利用地や公共施設、通りなどを効果的に活用し、駅から中心市街地へ至る動線づくりや街なかの回遊性、利便性の向上策を検討・実施します。								
計画上の 測定指標	中心商店街における通行量		目標値 (H29)	24,000 人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
						18,438	－	17,433						
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性) ・通行量の減少には歯止めがかかっていない状況が続いている。 ・中心市街地活性化基本計画の改訂を契機に、ハード・ソフト両面で、新たな中心市街地の形を模索していただきたい。											
	○	B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	69	大綱Ⅳ政策02施策02事業01担当課にぎわい商業課主要○一般												
事業名		街なか活性化に向けた仕組みづくり		目的（目標）		街なかのにぎわい創出に向け、民間主体による活性化推進組織の設置に取り組みます。また、学生等の新たな発想や行動力を活かすための交流の場を提供するとともに、活性化に資する取り組みを支援します								
計画上の測定指標	－			目標値(H29)	－	実績値の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
進捗状況と今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・シェアフラット馬場川に入居する学生との連携や、やる気の木プロジェクトの実施など、まちへ訪れるきっかけづくりに貢献している。									
		C 遅れている			・今後は、増大する留学生の活用に目を向けて、新たな事業立案を検討いただきたい。									

No	70	大綱Ⅳ政策02施策02事業03担当課にぎわい商業課主要○一般												
事業名		街なか文化の充実と発信		目的 (目標)	中心市街地を学習意欲や趣味、知的好奇心などを満足させる魅力的な場所とするため、中心市街地に集積された文化施設や学習施設の更なる利活用を進めるとともに、各施設間の繋がりを強化し、街なか文化の充実と発信を図ります。									
計画上の 測定指標	中心市街地における 文化施設等の利用者数			目標値 (H29)	950,000 人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							788,193	803,840	871,713					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性) ・アーツ前橋が市内外に認知されてきたことから、利用者数は増加傾向にある。 ・今後、前橋文学館への萩原朔美館長就任や朔太郎生家の移築を契機に、まちなかの文化芸術施設間の連携を進めることで、一層のまちなか回遊を進めていただきたい。										
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	71	大綱	Ⅳ	政策	03	施策	01	事業	01	担当課	農林課	主要	○	一般
事業名		6次産業化の推進			目的 (目標)		本市の農林水産物の地産地消と高付加価値化を促進するとともに、経営規模の拡大、所得の向上、及び品質の向上を図るため、農業者による6次産業化を推進します。							
計画上の 測定指標	農業起業家登録者数			目標値 (H29)	38	人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								35	36	36				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・加工施設や販促活動への支援について、補助率を上げることで更なる推進が図られている。									
		C 遅れている			・6次産業化により、稼げる農業のモデルプランが創出できるよう、地域性を活かした事業を引き続き展開していただきたい。									

No	72	大綱													Ⅳ	政策	03	施策	01	事業	02	担当課	農林課			主要	○	一般
事業名		農畜産物のブランド化推進					目的 (目標)		前橋産農畜産物のブランド化に向け、赤城の恵ブランド認証制度の普及を行うとともに、市場や消費者ニーズに応じた付加価値のある高品質な農畜産物の生産・流通体制づくりと産地化を進めます。また、前橋産農畜産物の販売面において、生産者・消費者が求める消費・販路拡大に繋がる施策を検証し、農業所得の向上に繋がる販売体制づくりを進めます。																			
計画上の 測定指標		赤城の恵ブランド認証品創出数					目標値 (H29)		43		品目		実績値 の推移		H25		H26		H27		H28		H29					
													37		44		56											
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																										
		○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																				
			B 少し遅れている					・各種イベントでの出展等を通じて赤城の恵ブランドの付加価値を高め、ブランド化の推進が順調に行われている。																				
			C 遅れている					・引き続き、海外での販路拡大も含め、数ある農畜産物の中で前橋産を積極的に手に取るようなブランドの確立に向けて、進めていただきたい。																				

No	73	大綱	Ⅳ	政策	03	施策	01	事業	03	担当課	農林課	主要	○	一般
事業名		新しい農業の推進			目的 (目標)		農業都市としての本市の魅力を最大限に活かすため、農の多面性を活かした農地の有効利用を進め、農業への理解を深める機会を提供します。また、農業体験等を通じた都市住民と農村住民の交流など、様々な人々の交流を促進し、地域の活性化を進めます。							
計画上の 測定指標	①農業体験者数 ②市民農園の面積			目標値 (H29)	①7,300 ②60,000	人 ㎡	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								①6,929 ②35,815	①5,357 ②35,815	①4,796 ②35,955				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
	○	B 少し遅れている			・市民農園は民営化も含めて検討されており、さつまいもの苗配布は今年度をもって終了するなど、民間のできることは民間に任せる方向に推移している。									
		C 遅れている			・農福連携事業をはじめ、行政が担うべき新しい農業について精査の上で、時代に即した事業を推進していただきたい。									

No	74	大綱													Ⅳ	政策	03	施策	02	事業	03	担当課	農林課			主要	○	一般
事業名		農畜産物の販路拡大					目的 (目標)		国内外における産地間競争に対応するため、前橋産農畜産物の消費・販路拡大を推進します。																			
計画上の 測定指標	農産物直売所及び JA前橋市売上額					目標値 (H29)	208億6千 万円	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29															
									193億8千万円	188億3千万円	199億3千万円																	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・トップセールスや駒寄PAでの販売など、様々な手法で前橋産農畜産物のPRを着実に実施している。 ・国内市場の存在感を高めていくよう、引き続き事業の推進をしていただきたい。																					
		B 少し遅れている																										
		C 遅れている																										

No	75	大綱		Ⅳ	政策	03	施策	02	事業	04	担当課	農林課		主要	○	一般
事業名		地産地消の推進			目的 (目標)		地産地消を推進するため、農産物直売所が安全・安心な前橋産農産物の情報発信の拠点として機能し前橋産農産物の消費拡大に繋がるよう、魅力と特色のある農産物直売所づくりを進めます。また、生産者と小売業者のニーズのマッチングが図られるよう、情報交換の場の提供等を支援します。									
計画上の 測定指標	農産物直売所の売上額				目標値 (H29)	16億7千 万円	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
								14億7千万円	14億3千万円	14億9千万円						
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する															
		A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性)										
	○	B 少し遅れている				・スーパーの直売コーナーの充実などにより競争が激化しており、直売所の大幅な売り上げ増は難しい。 ・消費者のニーズに沿うような直売所の対応を支援していくとともに、現在の運営事業者への施設の譲渡も含め、引き続き検討していただきたい。										
		C 遅れている														

No	76	大綱	Ⅳ	政策	03	施策	03	事業	02	担当課	農業委員会事務局	主要	○	一般
事業名		新規就農者及び 農業後継者等の支援		目的 (目標)		新たな農業の担い手となる人材を確保し、育成するため、新規参入者等が就農しやすい環境を整備します。また、新規就農者及び農業後継者が、意欲を持って営農し地域農業の担い手として地域に定着し、農業経営の自立ができるよう各種支援を行います。								
計画上の 測定指標	新規就農者数			目標値 (H29)	25	人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								19	15	19				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・新規就農に向けた働きかけとして、農林大学校や先進農家等への研修、雇用就農に向けたハローワークとの連携を密にし、周知を図っている。									
		C 遅れている			・引き続き、新規就農者に対しては、巡回指導や各種支援策を講じ、農業の定着に繋がる取り組みを推進していただきたい。									

No	77	大綱	Ⅳ	政策	03	施策	04	事業	02	担当課	農業委員会事務局	主要	○	一般
事業名		農用地利用集積の推進			目的 (目標)		農業経営基盤強化促進法による農用地の利用権設定を促進し、認定農業者等規模拡大志向農家への集積を図り、農業経営の合理化を進めるとともに、遊休農地の解消と効率的な利用を図るため、農地貸借のあっせん、農地利用集積円滑化事業への支援、農地流動化奨励金の交付、地域人・農地プランに基づく農地集積協力金の交付などを行います。							
計画上の 測定指標	農業の担い手に面的集積される 農地面積			目標値 (H29)	700	ha	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								654	654	654				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・農地の利用権設定だけでなく、農地中間管理事業を活用した取り組みが着実に遂行されている。 ・今後も中間管理事業等を積極的に活用しながら、効率的・合理的な農業に向けた支援を進めていただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	78	大綱		Ⅳ	政策	03	施策	04	事業	03	担当課	農業委員会事務局	主要	○	一般
事業名		遊休農地の有効活用			目的 (目標)		遊休農地の解消のため、農地利用状況調査を実施し、遊休化した農地所有者に対して、意欲ある担い手をはじめ、一般企業やNPO法人等へ貸し付けるための調整・支援を行います。また、農業の多面性を発揮する新たな農地の活用方法を検討します。								
計画上の 測定指標	遊休農地面積			目標値 (H29)	347	ha	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
								366	377	420					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
		A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・遊休農地解消の進捗よりも、新たに遊休農地となる割合が多く、事業実績に見合った成果が得られていない。 ・遊休農地の早期発見や早期解消を図り、解消に係るコストを抑制できるよう、新設される農地利用最適化推進委員との連携を密に取っていただきたい。										
	○	B 少し遅れている													
		C 遅れている													

No	79	大綱	Ⅳ	政策	03	施策	04	事業	04	担当課	農村整備課	主要	○	一般
事業名		優良農地の整備		目的 (目標)		農地の生産性向上に向け、土地改良事業を実施する土地改良区や農地の畦畔撤去等の整備を行う農業者の組合等に対し、事業費の一部補助を行い、市内における農地の大区画化を進めるとともに、環境配慮型の道水路の整備を促進します。								
計画上の 測定指標	補助の対象となる農地の面積			目標値 (H29)	90	ha	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								0	0	0				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・粘り強い働きかけにより仮同意率が高まったことで、平成28年度中に本同意を取りまとめ、事業の申請を行っていくこととなった。									
		C 遅れている			・引き続き、国や県の予算確保に向け、地元の意向を汲みつつ事業の推進を図っていただきたい。									

No	80	大綱	Ⅳ	政策	Q4	施策	Q1	事業	Q1	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名	赤城山観光の充実	目的 (目標)	地域住民が赤城山の新たな魅力を再認識し、観光資源として県内外に情報発信を行い、地域の活性化を促進します。また、既存施設の適正な維持・管理、改修を行い、訪れるお客様に快適に過ごしていただき、リピーターの増加を図り、入り込み客数に反映するよう繋げていきます。											
計画上の 測定指標	赤城山総合観光案内所、県立赤城公園ビジターセンター利用者数	目標値 (H29)	160,000	人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	150,000	187,000	190,000	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・戦略的なイベント実施やPR促進などの効果で、登山客やヒルクライムの練習などで訪れる人は増加傾向にある。 ・今後は、増加した観光客を大沼湖畔まで誘導するために、案内看板などのハードと、回遊を促すソフトの両面で、工夫した取り組みの実施を検討していただきたい。(大沼湖畔の商店などは利用客が伸び悩んでいる。) B 少し遅れている C 遅れている													

No	81	大綱	Ⅳ	政策	Q4	施策	Q1	事業	Q2	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名	都市観光の充実	目的 (目標)	「まちなか」で育まれてきた歴史や文化、風土、そして、そこに住む人たちが伝承してきた技術や温かい「おもてなし」など、他にはない前橋の「まちなか」ならではの魅力（オンリーワン）をつなぎながら、都市観光（まちなか観光）の充実に取り組んでいきます。											
計画上の 測定指標	観光客年間入込数	目標値 (H29)	150,000	人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	100,000	170,000	346,454	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・花火大会の打ち上げ方式を変更するなど、新たな取り組みを導入することで、一定の成果はでている。 ・今後は、県外へ広くPRするための新たな手法を検討・実施するなど、観光入込客を意識した取り組みを進めていただきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	82	大綱	Ⅳ	政策	Q4	施策	Q2	事業	Q1	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名	前橋観光の積極的なPR	目的 (目標)	赤城山観光と都市観光、そして両者を一体化した数多くの前橋観光タイトルを首都圏をはじめ多くの人々が知り、興味を感じ、そして実際に前橋観光に訪れていただくために積極的なPRを推進していきます。											
計画上の 測定指標	観光キャラバン等実施件数	目標値 (H29)	25	件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	15	14	16	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・各種イベントと連携した観光キャラバンを実施している。 ・今後は、効果的な時期と場所を勘案した観光キャラバンの実施を推進するとともに、費用対効果を算出していただきたい。 また、新たな観光パンフレットの影響度等を調査していただきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	83	大綱	Ⅳ	政策	Q4	施策	Q3	事業	Q1	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名	観光施設・観光情報の充実	目的 (目標)	赤城山など本市が持つ地域の観光資源やホームページを整備、充実することにより、観光客の更なる誘客を図り、地域経済の発展及び地域とのコミュニケーションを推進します。											
計画上の 測定指標	—	目標値 (H29)	—		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・デジタルサイネージやSNSなど、多様な手段で観光情報の発信に努めた。 ・観光情報の入手方法について、利用者アンケートの実施などでニーズを把握し、効率的な発信手法を研究していただきたい。また、デジタルサイネージの有効活用策として、利用を促進させるコンテンツを作成していただきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	84	大綱	Ⅳ	政策	04	施策	03	事業	02	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名		ホスピタリティの充実		目的 (目標)		既存の観光ボランティアガイドのスキルアップやワンストップサービス実現に向けた観光案内所の整備など、観光関係者のみならず、観光客に接する全ての人が「おもてなし」の雰囲気や環境を整えるとともに、推進体制づくり等に取り組みます。								
計画上の 測定指標	観光ガイド登録者数 (観光ボランティアガイド会員数)			目標値 (H29)	300 (150)	人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								78	78	72				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
		A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・観光ガイドの連絡会を開催するなどボランティア活動の報告や情報共有の場を設定することで、会員のスキルアップや登録者数の維持、向上に努めているが、目標値を大きく下回っている現状である。 ・オリンピックイヤーを見据え、観光ガイド登録者数の向上や、インバウンド対応(外国人対応)についての研修を行うなど、観光ガイドのスキルアップやガイド内容の充実に努めていただきたい。									
	○	B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	85	大綱													Ⅳ	政策	04	施策	04	事業	01	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名		地域特性を活かした食によるまちづくり					目的 (目標)		「食」によるまちづくりが、関係者はもとより市内外の人たちから認知されるよう、名物料理創出に向けて活動してきた「TONTONのまち前橋」の取り組みを段階的にレベルアップを図るとともに、定着に向けた仕掛けや仕組みなどを検討・実施していきます。																	
計画上の 測定指標	—					目標値 (H29)		—		実績値 の推移		H25	H26	H27	H28	H29										
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・T-1グランプリの実施は、店舗の豚肉料理開発の意識啓発に繋がっている。 ・今後は、市民への浸透を強化するために、アンケート調査を基に、T-1グランプリ内容と周知方法の充実を図っていただきたい。また、前橋ならではの豚肉料理を定着（名物料理として定番化）させるための研究を進めていただきたい。																			
		B 少し遅れている																								
		C 遅れている																								

No	86	大綱	Ⅳ	政策	04	施策	04	事業	02	担当課	観光振興課	主要	○	一般
事業名		前橋ブランドの販売促進			目的 (目標)		前橋の名物・名産品、「赤城の恵ブランド認証品」など数ある中で、「前橋ブランド」としてのステータスやブランド力を構築しながら、地元企業をはじめ、多くの民間事業者等が取り扱えるよう販路の拡大につながる仕組みづくり等に取り組んでいます。							
計画上の 測定指標	観光消費額				目標値 (H29)	8,000,000 千円	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								7,273,151 千円	7,326,080 千円	8,051,012 千円				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・イベントでの物産PRや魅力的な商品開発の側面支援を行うなどして、観光消費額の増加に繋がった。 ・今後は、H28年12月にオープンする物産館広瀬川を最大限に活用するなどして、更なる観光消費額の増加に向けた取り組みを進めていただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	87			大綱	V	政策	01	施策	01	事業	01	担当課	生涯学習課	主要	○	一般
事業名		地域課題に対応した社会教育の充実			目的 (目標)		地域の特性やニーズを踏まえた講座や環境問題や防災などの課題に対応する講座を開催し、受講者が学んだ成果を地域に還元して生かす「循環型社会」の構築を目指す。特に、家庭教育学級をはじめとする学習機会を提供し、家庭教育力の向上を図るとともに、子育てをサポートする体制を整えることにより、地域における子育て・子育て環境の充実を目指す。									
計画上の 測定指標	出前講座の利用件数				目標値 (H29)	300	件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
									213	266	289					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する															
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・出前講座の件数は、前年度に比べて増加している。 ・地域との良好な連携及び職員研修を継続させ、地域ごとの課題やニーズを的確に捉えた講座を企画、実践し、地域力の向上につながる公民館事業を一層推進していただきたい。										
		B 少し遅れている														
		C 遅れている														

No	88	大綱	V	政策	O1	施策	O1	事業	O3	担当課	生涯学習課	主要	O	一般
事業名		生涯学習施設の充実		目的 (目標)		幅広い世代の地域住民が集い、いつでも気軽に交流できる居場所としての環境を整え、広く地域づくりや文化振興の拠点として快適に活用できるよう、計画的な施設整備や適正な維持管理を行う。								
計画上の 測定指標	公民館及びコミュニティセンター 利用人数		目標値 (H29)	1,055,000	人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							1,036,004	1,063,126	1,100,304					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる		(理由、今後の方向性)										
		B 少し遅れている		・利用人数は、前年度に比べて増加している。										
		C 遅れている		・利用者の要望を反映した改修や、公民館の建て替え整備を進め、利用者にとって居心地のよい拠点づくりを総合的に進めていただきたい。										

No	89	大綱	V	政策	O1	施策	O2	事業	O1	担当課	図書館	主要	O	一般
事業名		資料・情報の提供と 調査・相談機能の充実		目的 (目標)		市民の多様な学習要望に応えるため、豊富な資料を充実し迅速に提供します。 市民と地域の課題解決のため、レファレンス機能をいっそう充実し、市民の暮らしに役立つ図書館サービスを提供します。								
計画上の 測定指標	蔵書数			目標値 (H29)	1,025,000冊	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							983,761	1,011,135	1,033,140					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・蔵書数は、東分館の新規購入分2年目によって前年度に比べて増加し目標値を達成した。									
		C 遅れている			・市民の暮らしに役立つ図書館サービスの提供に向けて、目標達成した充実の蔵書を最大限活かすための創意工夫を継続して行っていただきたい。									

No	90	大綱													V	政策	O1	施策	O2	事業	O4	担当課	図書館			主要	O	一般
事業名		図書館施設の充実					目的 (目標)		市民が身近に図書館を利用できるようにするために、図書館本館及び分館を体的かつ円滑に運営し、施設を良好に管理するとともに、老朽化し手狭となった本館の整備を行い、未設置の地域の分館の整備を行います。																			
計画上の 測定指標	図書資料貸出点数					目標値 (H29)	2,644,000 冊	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29															
									2,062,456	2,053,104	2,165,464																	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・貸出点数は、東分館の移転新築による効果も見られ増加に転じた。 ・目的としている市民の誰もが身近に図書館を利用できる環境づくりに向けて、図書館の未設置地域である永明地区への分館設置を関係各課の動きと併せて着実に進めていただきたい。																					
		B 少し遅れている																										
		C 遅れている																										

No	91			大綱	V	政策	O1	施策	O3	事業	O1	担当課	青少年課	主要	O	一般
事業名		地域における 青少年健全育成活動の推進			目的 (目標)		家庭、地域、学校のそれぞれの役割と責任の自覚と相互の連携協力のもと、前橋市青少年健全育成計画「いきいき前橋っ子 はぐくみプラン」の周知・活用に取り組むとともに、青少年健全育成会、子ども会育成会等の青少年育成団体に 対する指導・支援を行うことにより、地域における健全育成活動を推進し、人 間性豊かな青少年の育成を目指します。									
計画上の 測定指標	のびゆくこどものつどい 総参加人数				目標値 (H29)	35,000	人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
									35,048	35,576	38,007					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する															
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性)										
		B 少し遅れている				・のびゆくこどものつどいにおいて中学生ボランティアの参画がさら に進んだことで目標値を大きく上回った。										
		C 遅れている				・地域における健全育成活動に幅広い世代が参画することは、教育や 地域づくりにとどまらない様々な波及効果がある。関係者との連携を 深め、取り組みをさらに充実させていただきたい。										

No	92														
		大綱	V	政策	01	施策	03	事業	02	担当課	青少年課		主要	○	一般
事業名		非行防止・被害防止活動の充実			目的 (目標)		街頭補導、店舗巡回や警察、児童相談所、プラザ相談室等関係機関との適切な連携をとって青少年の非行防止と被害防止に努め、健全育成を図ります。								
計画上の 測定指標	街頭補導活動における声かけ数			目標値 (H29)	4,200 人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
							3,809	3,275	3,753						
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)										
		B 少し遅れている			・街頭補導の継続をはじめ、インターネットに関連する問題行動の未然防止に向け、保護者・有識者を交えた対策会議を開催するなど非行防止と被害防止に関する取り組みが行われている。										
		C 遅れている			・それぞれの取り組みが単発化することのないよう関係各所で一層連携し、健全育成を進めていただきたい。										

No	93	大綱	V	政策	01	施策	03	事業	03	担当課	青少年課	主要	○	一般
事業名		児童文化センターの活用と機能充実			目的 (目標)		青少年の科学及び文化芸術に対する理解と関心を高め、多様な体験活動の充実を図ることにより、自主・自律の精神に満ちた人間性豊かな青少年の育成を目指します。							
計画上の 測定指標	児童文化センター利用者数			目標値 (H29)	220,000 人	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							458,996	445,403	472,833					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・オリジナルプラネタリウム番組制作などの利用者目線に立った取り組みや城東駅東口開設等の利便性の向上によって利用者数は過去最高となった。									
		C 遅れている			・今後も事業内容を積極的に改善しようとする姿勢を継続し、学校や関係団体との連携を深めながら多様な体験活動の場を提供していただきたい。									

No	94	大綱	V	政策	02	施策	01	事業	01	担当課	学校教育課	主要	○	一般
事業名		学校経営の改善・充実			目的 (目標)		まえばし学校教育充実指針の取組を基に、学校経営の基盤となる各種管理体制や指導体制、学校評価等の充実・改善を図り、学校力を高めます。また、地域や学校の実態に応じた特色ある学校づくりを推進します。							
計画上の 測定指標	学校課題の改善に関する保護者等アンケート (4段階評価で上位1位の割合)				目標値 (H29)	75	%	実績値 の推移	H25 64	H26 69	H27 71	H28	H29	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性)								
		B 少し遅れている				・まえばし学校教育充実指針の取組を基に、学校経営の基盤となる各種管理体制や指導体制の充実が図られており、学校評価制度、特色ある学校づくり支援事業、教職員の負担の軽減が図られている。								
		C 遅れている				・今後も学校が持つ課題の把握に努めるとともに、必要に応じた指針の見直しを行い、適切な学校経営を進めていただきたい。								

No	95	大綱 V 政策 02 施策 01 事業 03 担当課 教育施設課 主要 ○ 一般												
事業名		安全で安心な 学校（園）施設整備の推進			目的 （目標）		児童生徒が安全に安心して学ぶことのできる教育環境をつくるため、老朽化した校舎、体育館及びプールの改築、並びに校舎及びトイレの大規模改造を予算の平準化を含めた長寿命化計画に基づき実施します。							
計画上の 測定指標	小中学校校舎・体育館の耐震化率			目標値 (H29)	98.3	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								90.6	93.4	97.8				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			（理由、今後の方向性） ・計画的に整備を進めた結果、小中学校校舎及び体育館の耐震化率が97.8%に向上し、耐震化率が順調に伸びており、1年前倒し（H28年度末）で目標が達成できる見込みである。 ・国の予算内定額が大幅に減額された状況にあるが、安全で安心な学校生活の確保に重大な支障が生じないよう、計画的な改修、整備を推進していただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	96	大綱		V	政策	O2	施策	O1	事業	O6	担当課	学校教育課	主要	○	一般
事業名		地域との連携・人材活用			目的 (目標)		地域の人材を積極的に活用するなど、学校と地域社会、関係機関等との連携を深めるとともに、各学校で展開されている教育活動を地域へ発信し、開かれた学校づくりを一層推進します。								
計画上の 測定指標	学校支援ボランティアの人数の満足度に関する学校へのアンケート (5段階評価で上位2位以上の割合)				目標値 (H29)	85	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
									87	87	77				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている				・目標値を下回ったものの、5月より中学生における地域寺子屋事業が開始され、地域との関わりの中で子どもたちが自分の力を伸ばすことのできる環境づくりが進められている。									
		C 遅れている				・先行地域における指導ノウハウを活かしながら地域寺子屋事業の拡大を進めていただきたい。									

No	97	大綱	V	政策	O2	施策	O3	事業	O1	担当課	学校教育課	主要	O	一般
事業名		基礎・基本の確実な定着			目的 (目標)		各小学校の活用構想や学校課題に沿って、適切にマイタウンティーチャーを配置する。また、児童生徒の基礎学力を客観的に捉え個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。							
計画上の 測定指標	(小中学校の) 授業内容の理解に関する児童 生徒アンケート (４段階評価で上位２位以上の割合)			目標値 (H29)	90	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								89	89	92				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・小学５、６学年の単学級において３５人学級を９校で実施している (前年度５校)。また、今年度より音楽や体育などを２学級一緒に指 導するなど弾力的な学習集団を編成し教員の空き時間確保を図ってい る。 ・子どもと向き合う時間の更なる創出を目的とした取り組みを今後も 継続して研究していただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	98	大綱		V	政策	O2	施策	O3	事業	O3	担当課	青少年課	主要	O	一般
事業名		不登校・いじめ対策の充実				目的 (目標)		学校支援員やオーブンドアサポーター等を組織的に活用するとともに、適応指導教室を効果的に活用することにより、不登校対策の充実を図ります。 いじめ解消に向けた指導や相談体制の整備等いじめ対策の充実を図る。さらに、スクールソーシャルワーカーや学校支援員等の組織的な活用や関係機関との連携等により、いじめ問題に迅速かつ的確に対応して早期解消に努めます。							
計画上の 測定指標	不登校児童生徒の割合（出現率）					目標値 (H29)	0.20 (小) 2.40 (中)	%	実績値 の推移	H25 0.26 (小) 2.63 (中)	H26 0.25 (小) 2.30 (中)	H27 0.33 (小) 2.38 (中)	H28	H29	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)								
		B 少し遅れている					・不登校児童生徒の割合が微増したが、ネット社会を生きる子どもの健全育成について新たにまとめたパンフレットを作成、配布し、家庭・学校・地域において問題の共有化を図るとともに役割を明示し、社会で子どもを守る風土づくりを推進している。								
		C 遅れている					・今後も不安を抱える児童生徒に寄り添った対応を継続し、未然防止、教室への復帰に取り組んでいただきたい。								

No	99	大綱 V 政策 O2 施策 O3 事業 O4 担当課 学校教育課 主要 O 一般												
事業名		特別支援教育の推進			目的 (目標)		特別支援学校や特別支援学級、通級指導教室で学ぶ児童生徒とともに、通常の学級に在籍している学習が困難な児童生徒に対しての教育の充実を図る。							
計画上の 測定指標	特別支援教育の推進についての状況調査4項目5段階評価の合計点が15点以上の学校の割合			目標値 (H29)	80	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								74	82	75				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・特別支援教育の資質向上に向けて研修会や教頭会における情報共有など体制づくりが継続して行われている。 ・特別な支援を要する児童生徒が増加傾向にあるなかで人材確保難と人件費増の問題があるが、対象となる児童生徒に対する教育の充実に向けた検討を引き続き進めていただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	100	大綱 V 政策 02 施策 03 事業 05 担当課 学校教育課 主要 ○ 一般												
事業名		現代の教育ニーズに応じた多様な教育の推進				目的 (目標)		環境保全、国際化社会、情報化社会やキャリア発達など、子どもたちを取り巻く現代の社会的な課題の解決に向けて、自ら考え自ら行動し、遅しく生きていく力を育てる。						
計画上の 測定指標	環境教育を通して、環境保全への取組意識が高まったとする学校の割合					目標値 (H29)	95	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29
										93	94	94		
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・児童文化センターや環境部との連携により、体験や体感できる環境教育が行われている。 ・2年目となったキャリアスタートウィーク推進協議会をより一層活発化させ職場体験学習の充実を図るなど、遅しく生きる力が養われる取り組みを進めていただきたい。								
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	101	大綱													V	政策	02	施策	05	事業	02	担当課	政策推進課	主要	○	一般
事業名		高等教育機関の活用推進					目的 (目標)		大学を始めとする高等教育機関の知の集積を地域課題の解決や地域の人材育成等へ活用するため、各機関と地域・民間事業者・行政のネットワーク形成を推進し、各機関の研究活動・研究水準の向上と地域社会・産業界の活性化を促進します。																	
計画上の 測定指標	前橋工科大学による外部研究費導入件数					目標値 (H29)	25	件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29												
										42	52	75														
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・外部研究費導入件数については年々増加しており、概ね順調に進んでいる。 ・インターンシップの実施について、関係団体等との連携を強化し、受け入れ側の体制整備及び学生の参加人数の拡大を行うことにより、地元で働く人材の更なる育成促進を図っていただきたい。																			
		B 少し遅れている																								
		C 遅れている																								

No	102	大綱	V	政策	03	施策	01	事業	01	担当課	スポーツ課	主要	○	一般
事業名		生涯スポーツの普及・振興			目的 (目標)		生涯スポーツ人口の増加と、市民の健康と体力増進を図るため、各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催し、生涯スポーツに触れる機会を充実し市民スポーツの普及・振興を図ります。							
計画上の 測定指標	前橋市軽スポーツフェスティバル満足度 (4段階評価の最上位)			目標値 (H29)	75	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								48.5	73	73				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性) ・参加者アンケートでは、好評を得ている。 ・今後は、多くの方が参加できるよう、実施する競技種目を検討して いただきたい。									
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	103	大綱	V	政策	03	施策	01	事業	03	担当課	スポーツ課	主要	○	一般
事業名		スポーツ施設整備		目的 (目標)		安全で快適にスポーツに親しめる施設整備を進めるとともに、長寿命化計画に基づき大規模な大会の開催にも対応できる施設の改修などを行います。								
計画上の 測定指標	スポーツ施設利用者の満足度 (4段階評価のうち上位2位以上の合計)			目標値 (H29)	90	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								86	88	91				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・施設毎に利用者アンケートを実施し、好評を得ている。 ・今後は、アンケートでの意見や要望を踏まえ、施設のハード、ソフト両面の充実について、できることから進めていただきたい。									
		C 遅れている												

No	104	大綱	V	政策	O3	施策	O2	事業	O1	担当課	スポーツ課	主要	O	一般
事業名	スポーツ大会開催支援	目的 (目標)	市民がスポーツ大会への参加、あるいは観たり、応援する楽しさを味わい、スポーツへの関心を高めることができるよう、各種大会の開催支援を行い、スポーツの普及振興を図ります。											
計画上の 測定指標	全国規模のスポーツ大会開催数	目標値 (H29)	23	回	実績値 の推移	H25 11	H26 11	H27 11	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・全国規模のスポーツ大会開催数は横ばいであるが、スポーツコミッションの推進により、各種スポーツ大会の誘致を実現している。 ・今後は、専門性の高い器具の購入や施設整備により、新規の大規模開会誘致に向けた調整を更に進めていただきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	105	大綱	V	政策	O3	施策	O2	事業	O2	担当課	スポーツ課	主要	O	一般
事業名	地域貢献プロスポーツの支援	目的 (目標)	ザスバ草津等プロスポーツチームが行う地域貢献活動は、地域の一体化の形成、スポーツ振興、経済効果、イメージアップなど多様な効果があるため、さらなる地域貢献活動を促進するに当たり様々な支援を行います。また、チームと小中学校が連携する機会を増やし、選手と市民が交流する機会を創出することで、市民意識の醸成を図りながら集客につなげ本市の活性化を図ります。											
計画上の 測定指標	プロスポーツチームが行う1年間の地域貢献活動事業数(3チーム)	目標値 (H29)	30	回	実績値 の推移	H25 24	H26 17	H27 22	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・プロスポーツチームとの連携により、選手と児童の交流や、前橋市民サックスデーを行うなど、競技やチームの魅力を市民に伝えるための取り組みを支援している。学校訪問などを積極的に行い、実施回数が増加した。 ・今後は、チームごとの特性を活かした効果的な取り組みを検討し、集客力向上を目指していただきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	106	大綱	V	政策	O4	施策	O1	事業	O1	担当課	文化国際課	主要	O	一般
事業名	アーツ前橋の運営	目的 (目標)	多様で質の高い芸術文化を推進するとともに、新たな前橋文化を育むため、次世代に向けた芸術文化の拠点施設であるアーツ前橋を運営します。											
計画上の 測定指標	アーツ前橋の年間入館者数	目標値 (H29)	100,000	人	実績値 の推移	H25 36,446 (5ヶ月間)	H26 70,168	H27 77,301	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・年間入館者数も順調に伸びており、事業の継続により知名度の向上による来館者数増も期待できる。 ・今後は、引き続き、アーツ前橋の特徴とも言えるアーティストによる滞在制作や地域の中での創作活動などを実施することにより、地域と連携した事業を展開していただきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	107	大綱	V	政策	O4	施策	O2	事業	O1	担当課	文化国際課	主要	O	一般
事業名	芸術文化事業の推進	目的 (目標)	市民の文化芸術活動振興を図るため、各種団体が活動成果を発表できるよう、文化芸術事業を実施する。また、本市の文化芸術の振興に関する基本理念と方向性を明確にする。											
計画上の 測定指標	文化芸術事業への来場者数	目標値 (H29)	70,000	人	実績値 の推移	H25 63,550	H26 81,297	H27 70,916	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・事業内容の充実により、来場者数は順調に推移している。 ・今後は、市民文化会館の耐震工事に合わせた大規模改修や周辺整備、文学館の指定管理制度から直営化への見直しにより、さらには朔太郎記念館移築による整備等、それぞれの文化振興拠点としての環境整備と機能強化を継続的に推進していただきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	108	大綱	V	政策	04	施策	02	事業	02	担当課	文化国際課	主要	○	一般
事業名		萩原朔太郎を核とした芸術文化の推進			目的 (目標)		萩原朔太郎を核とした、萩原朔太郎賞や朔太郎音楽祭（マンドリンフェスタ）など、次世代の詩人発掘・育成に向けた「若い芽のポエム」のなど、郷土が生んだ詩人萩原朔太郎を通じて、前橋市独自の文化芸術イベントを、全国に向け積極的に発信します。							
計画上の 測定指標	若い芽のポエム応募数			目標値 (H29)	23,000 件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
							19,862	19,189	19,135					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・市内小中学校では全児童生徒を対象に詩を書く機会を設けていたことにより、応募数は順調な実績値であった。									
		C 遅れている			・今後は、質を重視した事業として、作品制作を希望する児童生徒がすすんで応募できるような形を構築していく必要がある。									

No	109	大綱													V	政策	04	施策	03	事業	01	担当課	文化財保護課	主要	○	一般
事業名		歴史学習施設の充実					目的 (目標)		市民の文化財への親しみや理解を深めるため、また、文化財を後世に的確に伝えるため、日本の伝統文化・伝統技術などの一端にふれることのできる場として、歴史学習施設の充実を図ります。																	
計画上の 測定指標		所管施設（蚕糸記念館、総社資料館、大室公園民家園、粕川歴史民俗資料館、臨江閣、阿久沢家住宅）の来館者数					目標値 (H29)		45,000 人		実績値 の推移		H25		H26		H27		H28		H29					
													33,138		60,956		104,272									
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																								
		○		A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)																	
				B 少し遅れている					・NHK大河ドラマ花燃ゆ効果もあって、臨江閣への来館者数が飛躍的に増加した。また、他施設においても来場者数の増加が見られた。																	
				C 遅れている					・各施設において、ソフト事業の充実を図るとともに、更なる来場者数の増加に繋がるための仕掛けを実施していただきたい。																	

No	110														
		大綱	V	政策	04	施策	03	事業	03	担当課	文化財保護課	主要	○	一般	
事業名		重要史跡の保存			目的 (目標)		市民の知的欲求を満たし、新たな前橋の魅力の発見に繋げるため、埋蔵文化財を含めた各種の文化財についての調査研究を進めます。また、重要史跡等を市民全体の宝として後世に的確に伝えていくことを目的として、指定による保護の拡大や保存と活用のための保存管理計画を策定して整備を行います。								
計画上の 測定指標	国指定の史跡等における保存管理計画策定率			目標値 (H29)	38.5	%	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29			
								7.7	7.7	7.7					
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する														
		A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)										
	○	B 少し遅れている			・策定率は横ばいとなっているが、スケジュールを見直し、H30年度では女堀の保存活用計画策定を予定している。 ・史跡等について、将来に向けて大切に保存、継承していくとともに、国の補助金等を有効に活用しながら、施設整備に努めていただきたい。										
		C 遅れている													

No	111	大綱	VI	政策	01	施策	01	事業	01	担当課	生活課	主要	○	一般
事業名		地域づくり活動の促進			目的 (目標)		地域の支え合いを深めながら、それぞれの特色や工夫を活かし、身近な課題を主体的に解決していけるよう、市民力・地域力を発揮できる仕組みづくりを進めます。							
計画上の 測定指標	地域づくり協議会の整備数			目標値 (H29)	24	組織	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29		
								22	22	23				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる			(理由、今後の方向性)									
		B 少し遅れている			・ 城東地区の協議会設置については今のところ未定だが、推進地区指定に向け丁寧な対応をしている状況である。									
		C 遅れている			・ 地域活動ポイント制度は会員登録数が1,700人程度となり、目標値の半分以上を達成している(目標登録数3,000人)。地域活動ポイント制度の更なる浸透に向け、具体策を実行していただきたい。									

No	112	大綱	Ⅵ	政策	01	施策	01	事業	02	担当課	生活課	主要	○	一般
事業名	活力ある市民活動の促進	目的 (目標)	市民協働のまちづくりを目指し、NPO、ボランティア、地域活動団体など、市民活動全体の大きな繋がりパートナーシップ創出による様々な地域課題の解決を図ります。											
計画上の 測定指標	市民活動支援センター 利用登録団体数	目標値 (H29)	250	団体	実績値 の推移	H25 230	H26 256	H27 291	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・登録団体数は順調に増加しており、「分野別活動団体交流会」や「つながる3分プロジェクト」を開催し、市民や企業が協働できるきっかけづくりを行った。 ・市民提案型パートナーシップ事業は多くの応募がある中で、協働事業としての内容精査を行う事で成果を挙げている。より質の高いものとなるように事業を推進していただきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	113	大綱	Ⅵ	政策	01	施策	02	事業	02	担当課	市政発信課	主要	○	一般
事業名	市政情報の積極的な発信	目的 (目標)	広報紙やラジオ、インターネットホームページなど、それぞれの広報媒体で特性を活かし、限られた予算の中で、効果的・効率的広報広聴活動を展開し、市民との信頼関係の構築をするとともに、市外の方に対しても「住みたい」「訪れたい」「ビジネスをしたい」と思ってもらえるような魅力発信に取り組む。											
計画上の 測定指標	前橋市ホームページ全体の 訪問者数	目標値 (H29)	2,005,000	人/年	実績値 の推移	H25 3,119,911	H26 3,764,342	H27 3,915,756	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・ホームページ内での類似ページの統合や分類の整理を行い、市ホームページの訪問者数は順調に増加している。また、広報まえばしについても、若年層の購読率の向上に向け、積極的な取組みを行えている。 ・今後も市民等の意見を踏まえながら、情報発信ツールの質向上に向け取組みを進めていただきたい。また、各課が積極的に情報発信を行えるよう、充実した研修や周知の徹底を行っていただきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	114	大綱	Ⅵ	政策	01	施策	02	事業	03	担当課	市政発信課	主要	○	一般
事業名	市民の声の的確な把握	目的 (目標)	市民ニーズや地域の課題を把握し、市政に反映させていきます。また、「市長への手紙」などで寄せられた意見・提言に対しては、迅速かつ丁寧に対応し、市民の信頼を確保するとともに、施策展開に活用します。											
計画上の 測定指標	市民提案推進システムにより、 市民からの提案を実現させた件数	目標値 (H29)	25	件	実績値 の推移	H25 13	H26 8	H27 6	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・市長への手紙において、必要性が認められる提案が減少しており、測定指標は減少しているものの、事務効率の向上等に向け、取組みを進めている。 ・引き続き制度周知等を強化し、市民と一体となった課題解決に努めていただきたい。また、市民アンケートについては、庁内での連携を強化し、より意義のあるものにするためにも協議を進めていただきたい。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	115	大綱	Ⅵ	政策	01	施策	03	事業	02	担当課	生活課	主要	○	一般
事業名	男女共同参画の推進	目的 (目標)	男女が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を図るため、男女共同参画基本計画に基づき、各種セミナーの開催や情報誌の発行、相談事業等を実施します。また、ドメスティック・バイオレンス（DV）の防止と被害者への支援を推進するため、DV防止法に基づく基本計画の策定を検討します。											
計画上の 測定指標	-	目標値 (H29)	-		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29				
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する ○ A 概ね順調に進んでいる (理由、今後の方向性) ・相談業務ではH29年度から配偶者暴力相談支援センターの機能がはたらくように、予算措置を計画している。センター設置後の利用に向け、周知に工夫が必要である。 ・意識啓発事業については、即効的な成果が出るものではないため長期的な目線を持ち既存の活動に磨きを掛けていく。経費の節減を図りながら効果的な啓発が実施できるよう創意工夫を凝らしていく。 B 少し遅れている C 遅れている													

No	116	大綱													Ⅵ	政策	O2	施策	O1	事業	O1	担当課	行政管理課	主要	○	一般	
事業名		業務改善・改革の推進										目的 (目標)		効果的な行政運営を推進するため、事務改善や事業見直しを進める仕組みとして、事務改善事例発表会や事業総点検などを実施します。また、行財政改革推進計画に基づき、行政運営の合理化や効率化を目指した新たな行財政改革に積極的に取組めます。													
計画上の 測定指標		事務改善事例数										目標値 (H29)		100 件/年		実績値 の推移		H25 96		H26 5		H27 5		H28		H29	
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
		○		A 概ね順調に進んでいる										(理由、今後の方向性) ・事務改善事例の提案方法の変更により、事例数は減少しているが、H25～27年度の実績達成率は88%となっており、行財政改革の取組は進んでいる。 ・今後も、事務改善の取り組みを進め、時間外勤務等の縮減を推進していただきたい。													
				B 少し遅れている																							
				C 遅れている																							

No	117	大綱													Ⅵ	政策	O2	施策	O1	事業	O3	担当課	行政管理課	主要	○	一般
事業名		民間活力を活用した行政活動の促進					目的 (目標)		民間事業者等の専門的なノウハウと技術を積極的に活用することで、市民サービスの向上と行政コスト削減を図るため、全国自治体の事例等を踏まえて行政サービスのあり方を検討するとともに、民間活力活用に関する方針を定め、より幅広い視点で公共事業の民間委託化を検討・推進します。																	
計画上の測定指標	新たな民間委託の実施件数					目標値 (H29)		5	件	実績値 の推移	H25 0	H26 1	H27 1	H28	H29											
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																									
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・民間委託については、費用対効果のバランスを十分に検討し、関係課と調整をして着実に進めている。平成29年度から委託化される事業（3件）も予定されている。 ・国の動向を注視しながら、また先進自治体等を参考にしながら、様々な分野において、民間委託等を進めていただきたい。																			
		B 少し遅れている																								
		C 遅れている																								

No	118	大綱													Ⅵ	政策	O2	施策	O1	事業	O5	担当課	職員課			主要	○	一般
事業名		信頼される市役所づくり										目的 (目標)		人材育成基本方針により、職位に応じて求められる業務遂行能力を習得するとともに、自ら考え行動できる職員になれるように育成します。また、コンプライアンス行動指針に基づき、職員一人ひとりが法令遵守を理解するとともに組織としての徹底を図ります。														
計画上の 測定指標	-										目標値 (H29)	-		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29									
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる										(理由、今後の方向性) ・改訂された人材育成基本方針をノートや全体研修を使用して全職員に周知した。また、今年度から実施されている新たな人事評価制度とのリンクが図られている。 ・コンプライアンスの徹底については、今後も継続的に全職員に啓発していただきたい。																
		B 少し遅れている																										
		C 遅れている																										

No	119	大綱													Ⅵ	政策	O2	施策	O2	事業	O1	担当課	資産経営課	主要	○	一般
事業名		公共施設管理の 合理化・効率化					目的 (目標)		将来的な行政ニーズを的確に把握し、人口減少、人口構成の変化に応じた真に必要な公共施設を適切に管理運営するとともに、市有施設の効率のかつ効果的な合理化を推進することにより、持続可能な財政運営を図ります。																	
計画上の 測定指標		公共施設の延べ床面積及び 敷地面積の合計					目標値 (H29)		5,913,107 ㎡以下			実績値 の推移		H25		H26		H27		H28		H29				
														5,813,875		5,904,883		5,923,711								
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																								
		○		A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・旧嶺小学校については、サウンディング型市場調査を通じた検討により、早期かつ独自の活用事例を実現した。 ・市有資産活用基本方針に掲げる3つの方向性（「長寿化の推進」、「保有総量の縮減」、「効率的利活用の推進」）に向けて、今後も着実に進めていただきたい。																	
				B 少し遅れている																						
				C 遅れている																						

No	120	大綱												Ⅵ	政策	02	施策	02	事業	02	担当課	資産経営課		主要	○	一般
事業名		市有財産の有効活用					目的 (目標)		公有財産を適正に維持管理するとともに、有効な利活用の検討を行います。市として利活用の見込のない土地については、公募や入札により売却し、財源の確保を図ります。																	
計画上の 測定指標		－					目標値 (H29)		－		実績値 の推移		H25		H26		H27		H28		H29					
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																								
		○		A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・市有財産の売却については、利活用の予定について全庁的に確認の上で、売却可能性を判断しながら着実に進めている。 ・今後についても、現有する市有財産については有効活用を行いながら、不要な財産については売却等を基本に整理していただきたい。																	
				B 少し遅れている																						
				C 遅れている																						

No	121	大綱										Ⅵ	政策	02	施策	03	事業	02	担当課	収納課		主要	○	一般
事業名		安定的な財源確保					目的 (目標)		財政の健全化と市民負担の公平性を確保するため、市税の自主納付の促進と納期内納付の促進に努めます。															
計画上の 測定指標	①一般税現年度収納率 ②市税の督促状送付件数					目標値 (H29)	①99.1 ②200,000		% 通	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29									
							①99.3 ②223,077	①99.4 ②212,896			①99.6 ②203,597													
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																							
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・滞納者との接触機会に繋がる新たな取り組みを実施するなど、自主納付の推進を図りながら、収納率についても着実に向上している。 ・今後についても、自主財源を確保するため、公平・公正で効果的な徴収を継続していただきたい。																	
		B 少し遅れている																						
		C 遅れている																						

No	122	大綱													Ⅵ	政策	02	施策	04	事業	02	担当課	政策推進課			主要	○	一般
事業名		トップマネジメント機能の強化					目的 (目標)		ますます多様化・複雑化する地域の課題やニーズに対して、全市的・戦略的な視点を持って迅速かつ効果的に対応するため、最上層部による政策決定を中心としたトップマネジメント機能の強化を図ります。																			
計画上の 測定指標	主要施策の目標達成率						目標値 (H29)	100 %		実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29													
											84	82	89															
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性) ・H27については、例年同様、サマーレビュー及び行政評価等を実施し、主要施策の進捗確認を行うことにより、事務効率の向上や目標達成に向けての協議を行うことができた。 ・職員の事務負担の軽減等を目的に、今年度から行政評価の方式を変更したが、本来の目的を達成できるよう、更なるブラッシュアップを図っていただきたい。																					
		B 少し遅れている																										
		C 遅れている																										

No	123	大綱 Ⅵ 政策 02 施策 04 事業 03 担当課 政策推進課 主要 ○ 一般												
事業名		周辺都市との連携強化				目的 (目標)		本市の都市機能の向上と活性化を図るため、本県の2大都市である前橋・高崎の連携だけでなく、県内外の主要都市との連携を推進し、市民サービスの向上と行財政運営の一層の効率化を目指します。						
計画上の 測定指標	-					目標値 (H29)	-	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29	
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する													
	○	A 概ね順調に進んでいる				(理由、今後の方向性) ・高崎まつりへの市内団体参加や北関東中核都市連携会議でのランドネきたかんマルシェへの参加を通じ、他都市との連携推進はもちろんのこと、他都市の住民に対しても本市の魅力をアピールすることができている。 ・引き続き、県内外の主要都市との連携を推進・強化していくことにより、市民サービスの向上等に活かしていただきたい。								
		B 少し遅れている												
		C 遅れている												

No	124					大綱	Ⅵ	政策	03	施策	01	事業	01	担当課	情報政策課	主要	○	一般		
事業名		行政手続きの電子化推進				目的 (目標)		市民に利便性の高い行政サービスを提供するため、電子申請・届出システムの拡充等、各種行政手続きの電子化を推進します。また、入札・契約における透明性、公正性、競争性の向上、入札参加者の負担軽減及び事務の効率化を図るため、電子入札に係るシステムの安定運用及び適用対象の拡大に取り組みます。												
計画上の 測定指標	①オンライン化された行政手続きの利用 件数					目標値 (H29)	①251,000 ②25		件 品目	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29					
	②物品・役務業務の電子入札の実施品目										①315,772 ②21	①323,650 ②22	①402,001 ②22							
進捗状況 と 今後の方向性		目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																		
		○	A 概ね順調に進んでいる					(理由、今後の方向性)												
			B 少し遅れている					・ぐんま電子申請等受付システムにおいて、コスト削減を進めながらも、利用件数は年々増加しており、概ね順調に進んでいる。 ・今後も電子申請項目の充実に向け、庁内関係課と対応可能な項目を整理することにより、市民サービスの向上に努めていただきたい。												
			C 遅れている																	

No	125	大綱													Ⅵ	政策	03	施策	01	事業	02	担当課	情報政策課			主要	○	一般
事業名		ICTを活用した改革の推進										目的 (目標)		各種行政施策の具現化を図っていく中で、ICTを効果的に活用し、行政サービスの充実や、業務改革の推進に努めていきます。市民公開版GISの構築や、国民ID制度（マイナンバー）への対応等に積極的に取り組みながら、ICTを活用したまちづくりを推進します。														
計画上の 測定指標	市民公開版GISアクセス数										目標値 (H29)	30,000 件	実績値 の推移	H25	H26	H27	H28	H29										
														9,147 (1か月)	56,757	55,981												
進捗状況 と 今後の方向性	目標に対する取組状況や測定指標の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する																											
	○	A 概ね順調に進んでいる										(理由、今後の方向性) ・市民公開版GISアクセス数についてはほぼ横ばいの数値を保ち、目標値も達成できている。 ・ICTまちづくり活用について、事業周知を強化し、利用者の拡大を図ることにより、さらなる市民生活の質向上を図っていただきたい。																
		B 少し遅れている																										
		C 遅れている																										